授業概要

【シラバス】

心理学科

白梅学園短期大学
授業概要（シラバス）について

シラバス（Syllabus）は授業計画、教授細目とも訳されます。このシラバス集には、本年度に心理学科で開設される全ての授業科目について、その授業内容および授業の進め方が詳しく紹介されています。従来の講義要項より授業内容が詳しく説明されているので、学生の皆さんが必修科目を履修するときには、事前に授業内容を把握して学習の準備をするのに役立つでしょう。また、選択科目を選ぶときには、皆さんが本当に学習を望む授業内容であるかどうかを判断する材料となるでしょう。

このシラバス集に記載された授業計画から授業の内容、進行を判断して計画的に学習目標を立ててください。また、授業進行の早い段階で不明な点を積極的に質問して、授業内容を正しく把握し、実り多い学習ができるよう、多岐に活用してください。
# 目次（心理学科）

教養教育科目（1年）

| セミナー論 | 3 |
| 文学・フィクションと人間 | 4 |
| 王朝文学の世界 | 5 |
| 談話言葉の文芸 | 6 |
| 西洋文学 | 7 |
| 近代日本の歴史 | 8 |
| 西洋史概説 | 9 |
| 東洋美術 | 10-11 |
| 演劇論 | 12 |
| 現代社会論 | 13 |
| 現代家族論 | 14 |
| 日本国憲法 | 15 |
| 市民生活と法 | 16 |
| 政治学入門 | 17 |
| 生活の経済学 | 18 |
| マスコミニケーション概論 | 19 |
| 現代社会と女性 | 20 |
| 自然科学史 | 21 |
| 生命の科学 | 22 |
| 生物と環境 | 23 |
| 生活の科学 | 24 |
| 健康の生理学 | 25 |
| 宇宙と地球 | 26 |
| 数の科学 | 27 |
| 総合英語Ⅰ | 28～31 |
| 選択語学Ⅰ | 英語1 (オンライン・コミュニケーション) | 32 |
| 選択語学Ⅰ | 英語2 (オンライン・コミュニケーション) | 33 |
| 選択語学Ⅰ | 英語3 (オンライン・コミュニケーション) | 34 |
| 選択語学Ⅰ | 英語4 (オンライン・コミュニケーション) | 35 |
| 選択語学Ⅰ | 英語5 (フィジオニク講読) | 36 |
| 選択語学Ⅰ | 英語6 (フィジオニク講読) | 37 |
| 選択語学Ⅰ | 英語7 (フィジオニク) | 38 |
| 選択語学Ⅰ | 独語1 | 39 |
| 選択語学Ⅰ | 仏語1 | 40 |
| スポーツA (テニス) | 41 |
| スポーツA (卓球と卓球・ミショ) | 42 |
| スポーツA (ミニストリーム) | 43 |
| スポーツA (フィジオニク) | 44 |
| スポーツB (フィジオニク) | 45 |
| 健康科学 | 46 |
専門教育科目（1年）

<table>
<thead>
<tr>
<th>科目</th>
<th>頁碼</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>心理学序説</td>
<td>51</td>
</tr>
<tr>
<td>青年心理学</td>
<td>52</td>
</tr>
<tr>
<td>発達心理学</td>
<td>53</td>
</tr>
<tr>
<td>条件づけ</td>
<td>54</td>
</tr>
<tr>
<td>性格の形成</td>
<td>55</td>
</tr>
<tr>
<td>社会心理学</td>
<td>56</td>
</tr>
<tr>
<td>生理心理学</td>
<td>57</td>
</tr>
<tr>
<td>基礎技法演習</td>
<td>58・59</td>
</tr>
<tr>
<td>実験計画法</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>心理学演習I</td>
<td>61</td>
</tr>
<tr>
<td>心理学演習II</td>
<td>62</td>
</tr>
<tr>
<td>文献研究</td>
<td>63〜67</td>
</tr>
<tr>
<td>心理統計I</td>
<td>68</td>
</tr>
<tr>
<td>心理統計II</td>
<td>69・70</td>
</tr>
<tr>
<td>情報処理I</td>
<td>71〜73</td>
</tr>
</tbody>
</table>

一般教育科目（2年）

<table>
<thead>
<tr>
<th>科目</th>
<th>頁碼</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>人間</td>
<td>77</td>
</tr>
<tr>
<td>英語II A</td>
<td>78〜81</td>
</tr>
<tr>
<td>英語II B</td>
<td>82〜85</td>
</tr>
<tr>
<td>独語II</td>
<td>86</td>
</tr>
<tr>
<td>法語II</td>
<td>87</td>
</tr>
</tbody>
</table>

専門教育科目（2年）

<table>
<thead>
<tr>
<th>科目</th>
<th>頁碼</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>感覚と知覚</td>
<td>91</td>
</tr>
<tr>
<td>記憶と思考</td>
<td>92</td>
</tr>
<tr>
<td>動機づけと感情</td>
<td>93</td>
</tr>
<tr>
<td>英書講読</td>
<td>94</td>
</tr>
<tr>
<td>情報処理II</td>
<td>95・96</td>
</tr>
<tr>
<td>心理学研究演習</td>
<td>97〜104</td>
</tr>
<tr>
<td>心理学研究法A</td>
<td>105〜108</td>
</tr>
<tr>
<td>心理学研究法B</td>
<td>109〜112</td>
</tr>
<tr>
<td>精神生理学</td>
<td>113</td>
</tr>
<tr>
<td>心理検査法</td>
<td>114</td>
</tr>
<tr>
<td>カウンセリング</td>
<td>115</td>
</tr>
<tr>
<td>行動療法</td>
<td>116</td>
</tr>
</tbody>
</table>
臨床心理学
健康心理学
障害児心理学
交流分析
児童相談
心理学特講Ⅰ
心理学特講Ⅱ
心身医学
精神保健
精神医学
卒業研究

.............. 117
.............. 118
.............. 119
.............. 120
.............. 121
.............. 122
.............. 123
.............. 124
.............. 125
.............. 126
.............. 97〜104
教養教育科目（1年）
授業科目名：ヒューマニスム論
担当者：田中未来・黒田瑛

【開講期】1年後期

【授業目標】
「ヒューマニスム」の理念について、その展開を述べ、つぎに現代社会の諸問題に対応するときの「ヒューマニスム」の視点を示す。またそれを現実に自らの生き方に反映させることについて学生とともに考える。「ヒューマニスム」は本学の建学の理念として、今日まで学園の教育を支えた思想である。

【テキスト・参考書】
テキスト：なし
参考書：随時紹介する。

授業計画

授業内容を以下のように構成する。
第1部 ヒューマニスムの意義（2回）
  ヒューマニスムの語義
  今、なぜヒューマニスムか
  人間を考える
  生命、精神、実存、統一としての人間
  人間の尊厳と価値

第2部 ヒューマニスムの展開（4回）
  1. 東洋と西洋
  2. 「エロス」とヒューマニスム - ベルリシャ思想 -
  3. 「アガベ－」とヒューマニスム - キリスト教思想 -
  4. 「人間らしい文化」とヒューマニスム - ルネサンス-
  5. 「自由と人権」とヒューマニスム - 啓蒙思想と市民革命および産業革命-
  6. 人間の現実の生活の尊重 - プラグマティズム-
  7. 「労働」とヒューマニスム - 社会主義-
  8. 「主体性」と「限界」 - 実存主義-

第3部 現代とヒューマニスム（4回）
  1. 科学と技術 - 自然、環境、倫理、労働、情報 -
  2. 組織と人間 - 個と集団、自由と統制、社会制度、国家-
  3. 大衆社会状況の広がり - 治社会、消費文化への志向、外部志向型の人間、操作・管理される社会-
  4. 人権思想の発展 - 障害者、高齢者、女性、子ども、少数民族-
  5. 教育・福祉とヒューマニスム - 生涯学習、発達権、教育を受ける権利、生存権、幸福追求権、ボランティア

第4部 ヒューマニスムの課題（2回）

授業を次のように分担してすすめる。
保育科1年生 - 田中（第1部、第2部、第4部） 黒田（第3部）
教養科および心理学科1年生 - 田中（第2部） 黒田（第1部、第3部、第4部）

【評価方法】
レポート提出
【授業科目名】文学・フィクションと人間
【担当者】栗田慶美
【開講期】1年前期

【授業目標】文学作品に描かれた「世界」とは何なのか。それは先ず（少なくとも）、我々が生きているこの「現実」とは別の、「もう一つの世界」だろう。本講の目標は、この「もう一つの世界」としての「文学」（一般的には「芸術」）の構造を探りつつ、同時に、それとの関係の中で見えてくる「現実世界」の意味を考えることにある。

【テキスト・参考書】
教科書は用いない。講義の中で指定する若干の小説を読むことが課題になる。

授業計画

○ 例えば「小説」に描かれたことは、要するにすべて「作り事」、つまり「フィクション・虚構・ウソッパチ」だ。しかし我々は、なぜワザワザこんな「作り事」を生み出し、求めて来たのか。なぜ、そんなウソッパチに感動したり、「生き方が変わってしまった」などという驚くべきことがおこるのか、という事を考えたい。
これを考えることは、「文学」のみならず、「芸術」一般を考える出発点にもならないし、ひるがえって、我々が生きているこの「現実」なるものの意味を考えることでもあろう（「現実」はなぜ「フィクションではない」などと言えるのか）。

○ 講義は概ね、以下の三点をめぐって順次展開するはずである。
① 「フィクション論」……「フィクション」とは何か、それと「現実」は、いかなる関係にあるか、という問題を軸に考える。
② 「文学作品における「方法」について」……小説を中心に、「もう一つの世界」がどのような構造を持っているかを考える。
③ 「日常性と非日常性」……ひるがえって、我々が「生きている」（と思っていっている）この「世界」のリアリティー（あるいは限界）について考える。

○ 若干の課題作品（講義の中で指示する）を読むのは当然ながら、そのほかにも、講義でふるう作品を意欲的に読んで行くこと。
芸術と現実に関する自分なりの問題意識を、可能な限り観察し、考案すること。
この二つの前提があれば、講義は決して「難解」ではない。

【評価方法】筆記試験（自筆ノート参照可）。講義に基づいて自ら考察しつつ論じる形式。
講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておくこと。課題作品に関する小テスト（1〜2回）も加味する。「出席」のこと等は、最初の講義の時に述べる。
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>王朝文学の世界</th>
<th>担当者</th>
<th>佐々木 新太郎</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>1年後期</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

【授業目標】
平安時代において、貴族が求めた「みやび」を、作品の中の恋愛観と精神的美意識より見出すことを目標とする。

【テキスト・参考書】
日边正男、宮城謙一、須田哲夫 著
テキスト：校訂「伊勢物語」 吉川弘文館

授業計画

『伊勢物語』は25段すべてを取上げるべきであろうが、その中よりいくつかの段を取上げる。『伊勢物語』のモデルといわれる在原業平を中心にし、彼を取り巻く人々と、それらの人々の生きた時代の流れを把握し、『伊勢物語』における「みやび」を考察する。

【評価方法】
学年末試験の成績に、平常点を加算する。

---

-5-
授業科目名: 話し言葉の文芸
【担当者】東喜望

【開講期】 1年前期

【授業目標】文字で表現された文芸が制作される以前に、口ことばで伝えられる話された文芸があった。かつて文字は、支配層のものであった。文字を知らない民衆の創造した話や話は、あらゆる文芸の基礎を成している。ここでは、基層文化としての民間話話を、概論的に説明しながら、その伝承のコスモロジーに至りたい。

【テキスト・参考書】
1. テキストは使用しない。講義資料を配布する。2. 参考書
関村文彦編・岩波文庫、日本の昔はしない(Ⅰ)「ぼりねこ」(編)、(Ⅱ)「桃太郎」、(Ⅲ)「一寸法師」

授業計画
講義は、およそ以下の項目に沿って行なう。
1. 自然と文化
2. ことばと文化
3. 文芸の起源
4. 口承文芸
5. 昔話の形態
6. 昔話のルーチ
＜桃の子太郎・浦島・炭焼長者など＞

【評価方法】
定期試験時に実施する筆記試験。
授業科目名：西洋文学
担当者：衣川 清子
開講期：1年後期

【授業目標】
女性作家によって書かれた19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のいくつかに触れることによって、知識、視野、教養の幅を広げることを目指します。

【テキスト・参考書】
テキストは特になし。参考書や資料は必要に応じて紹介します。

授業計画

この授業では19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のうちから、女性作家によって書かれたいくつかの作品を選び、作者の横顔、作品が生まれた背景、作品の内容と特徴、その作品がどのように読まれてきたかなどを紹介し、一種の文学案内にしたいと思っております。

毎回の授業で一つの作品を扱う予定です。取り上げる予定の小説は、シャーロット・ブロンテ『ジェイ・エア』、L. M. モンゴメリー『赤毛のアン』、フィリッパ・ビアス『トムの真夜中の庭』、マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』、アリス・ウォーカー『カラー・バーブル』、エイミー・ダン『ジョイ・ラック・クラブ』、イザベル・アジェンデ『霊霊の家』などです（変更する場合もあります）。音声や映像の資料がある場合はそれらも活用したいと思います。この機会にいろいろな小説を読んでみたいと思っている学生の皆様を期待しています。

授業の進め方やスケジュールなど、詳しくは初回の授業で説明します。

評価方法
平常点とレポートの総合評価とします。授業の中で取り上げた作品またはその他の指定する作品の一つについて、「書評」（「感想文」ではなく）の形で期末レポートを書いていただき、書き方は授業の中で説明します。
【授業科目名】 近代日本の歴史
【担当者】 平賀 明彦

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】
歴史的なもの見方、考え方を身に付けてもらうために、日本の近代史に題材をとりながら、時間的流れのなかで変化をとげていく社会を構造的にとらえていく方法について考えていきたい。

【テキスト・参考書】
テキスト：特になし
参考図書：中村政則『日本近代と民衆』校倉書房

授 業 計 劃

幕末の動乱を収拾し、列国の圧力に抗しながら、国内の産業の育成し富国強兵を実現しようとした明治政府は、その過程で色々なやり方で、地域を再編成し中央への求心力を高めようとした。その様子を下のようなくちかの側面からながめることにより、近代日本の基礎がどのように固められていたかを検討してみたい。

◇明治維新政府をとりまく内外の状況
◇内務省設置と地方制度の整備
◇町と村の「文明開化」
◇初期の教育政策と地域の学校
◇初期の宗教政策と地域の寺・神社
◇日清・日露戦争と地方の「改良」
◇日本近代における中央と地方

【評価方法】
期末にレポートを課す。
講義の中で小レポートを出してもらうことがある。
授業計画

西洋の歴史を単に知識として理解するのみではなく、国際社会に生きる日本人として、各自が西洋の歴史をどう認識してゆくかが要求される時代となってきているので、学生自身が、それぞれの歴史的事実についてどう考えるかを重視する授業とした。そのため、映像、画像、モーダルを用いながら、お互いの意見交換を重ねつつ、歴史認識を深めてゆく。さらに、次回次の各テーマを考えているが、授業の進行によって変えることもある。また、全てのテーマを扱うこともかもしれない。

①世界史と西洋史
②日本人的“西洋”観
③ヨーロッパ世界の成立
④キリスト教とイスラム教
⑤ローマカトリック世界とピサンツ世界
⑥絶対王政と西洋の世界進出
⑦市民革命と産業革命
⑧近代社会とナショナリズム
⑨帝国主義と社会主義
⑩ファシズムと人民戦線
⑪東西冷戦とヨーロッパ統合

評価方法
①出席
②随時行うアンケート・感想・意見などの提出状況を中心に評価する。
【授業科目名】 東洋美術

【開講期】 1年前期

【授業目標】
中国美術への理解を深めることにより、東洋の中の中国美術、延いては東洋の中の日本美術という視点を持つことに努める。また美術作品を通して、背景となる歴史・政治・文化の流れを考える力を養うことを目標とする。

【参考書】
- 『中国美術史』 マイケル・サリバン著 新潮社
- 『中国美術史』 小杉一雄著 南雲堂 他

授業計画

古代中国の美術は日本の美術に大きな影響を与えた。特に我が国の仏教美術は、中国・朝鮮の美術を理解することなしには語ることができない。しかしその中国の仏教美術もまたインドからの外来文化である。これらのことを念頭に置き、前半は中国の何千年という歴史を支えた仏教以前の美術、主として都市や壇墓などの考古学的発掘の成果にみる美術を中心に話を進める。

後半はインドから西域を通って中国へ伝わった仏教美術が、どのようにして展開してゆくのかを現在中国各地に残る石窟寺院の仏教彫刻を中心に、図やスライドを使って講義を進めてゆくことにする。展覧会などの見学も随時行う。

(1) 彩陶・黒陶
(2) 殷・周・春秋戦国時代の美術 青銅器文化
(3) 秦始皇帝と兵马俑坑
(4) 漢の明器と画像石
(5) 仏教伝来と初期の仏像
(6) 炎靈寺石窟と麦積山石窟
(7) 敦煌莫高窟の壁画と塑像
(8) 雲岡石窟
(9) 嵯嶇石窟
(10) 隋・唐の仏教美術

【評価方法】
レポート 他
授業科目名：東洋美術

【講義】
1年前期

【授業目標】
性格の異なるいくつかの文化圏からなる東洋諸地域に於いて、仏教がどのように受容され、仏教美術がいかに形成されていったのか、こうした問いかけを常に持ちながら、東洋美術の特質を考える。

【テキスト・参考書】
テキスト：使用しない
参考書：授業中に随時紹介する

授業計画

一口に東洋といっても範囲が広く、各地域では相異なる文化圈に属し、それぞれ異なる美術様式を持っているため、これらを一元的に講義することは困難である。そこで本講座ではアジアの諸地域に強く影響を与えた仏教に焦点をあて、インドから中国・朝鮮半島、そして日本へと伝えられた仏教美術がそれぞれの地域で生み出した表現形式やモチーフを概観する。スライド使用。
以下のテーマに沿って進める。
① はじめに——仏教とシルクロード
② インドの美術Ⅰ——釈尊の生涯
③ インドの美術Ⅱ——釈尊の前生
④ インドの美術Ⅲ——仏像の誕生
⑤ 中国の美術Ⅰ——仏教の伝来
⑥ 中国の美術Ⅱ——南北朝時代
⑦ 中国の美術Ⅲ——石窟寺院
⑧ 中国の美術Ⅳ——隋・唐時代
⑨ 朝鮮半島の美術Ⅰ——三國時代
⑩ 朝鮮半島の美術Ⅱ——統一新羅時代
⑪ 日本の美術——仏教の伝来

【評価方法】
筆記試験
【授業科目名】演劇論

【授業内容】
人生は劇場なり」という言葉があり、演劇は宗教儀礼から発展しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化と密接してい
る。これを演劇史についての考察を踏まえつつ、特に西洋と東洋、さらには時
代の比較の中で演劇の特質を深める。

【テキスト・参考書】
テキスト：使用しない
参考書：各種演劇関係書（別途指示）

授業計画
洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、
演出、演技、舞台美術、照明、音響、衣裳などの演劇の基礎
的表現を分析し、さらに西洋の演劇と日本の演劇を
比較することによって、その多様性と特質を理解する。各テーマ
については数回の講義となる。
1. 宗教儀礼と演劇
2. 悲劇と喜劇
3. 龍と「花伝書」
4. 歌舞伎と「屋敷犯笑論」
5. リアルズム演劇とスタイリッシュ・システム
6. 歌舞伎と新劇
7. オペラとミュージカル
8. 比較演劇論

【評価方法】
1. 各期末レポート
2. 授業中のレポート
3. 授業中の平常発問

左記の項目は総合評価
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>現代社会論</th>
<th>担当者</th>
<th>民秋 言</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>1年前期</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

【授業目標】
現代日本社会は複雑な仕組みをもって高度に発達している。この社会を考えるとき、いろいろなアプローチがあるが、本講では社会学的な把握を試みる。人間の社会学理解からはじめる本講は、いずれ毎日、新聞やテレビに現れるテーマをとりあげ、それらがもつ課題を「人間らしく生きる」という観点からも整理する。

【テキスト・参考書】
講義中に適宜指示する。

<table>
<thead>
<tr>
<th>授業計画</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 「人間が生きる」ということ</td>
</tr>
<tr>
<td>2. 人間の行動・行為</td>
</tr>
<tr>
<td>3. 「人間らしく」生きることと欲求</td>
</tr>
<tr>
<td>4. 人間を特徴づけるパーソナリティ</td>
</tr>
<tr>
<td>5. 行動様式としての文化</td>
</tr>
<tr>
<td>6. 集団生活のあり様</td>
</tr>
<tr>
<td>7. 現代日本社会の諸相</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【評価方法】 ペーパーテスト
授業計画

1. 人間にとって家族とは何か
   - 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。

2. 家族のほたる
   - 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなのはたるみ（機能）を同時併行的に行う。しかし今日の社会では、すべての機能が一様に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。

3. 家族のタイプ
   - 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにいわばさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつまりやルール（規範）によって家族のあり方を規制される。どのような家族のタイプが望ましいか、考える。

4. 家族のしくみ
   - 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造の2面から検討する。

5. 家族と福祉
   - 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。
   (1) 子どもの養育と家族福祉
   (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉
   (3) 高齢化社会における家族福祉

6. まとめ
   - 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。

【評価方法】
ペーパーテストを期末に実施
授業科目名：日本国憲法
【担当者】 工藤 繁裕

【開講期】 1年後期

【授業目標】
日本国憲法の基本構造を理解し、法的・憲法的考え方を身につけられる。

【テキスト・参考書】
テキスト：特に指定しない
参考文献：樋口陽一「憲法」（創文社）
野中・江橋編「憲法判例集」（有斐閣新書）

授業計画

憲法の基本原則を中心に、判例も参照しながら、おおよそ以下の項目に沿って進める。

1 憲法および日本国憲法
2 主権
3 国際社会と平和
4 人および市民の権利 （1）古典的権利
5 同 （2）現代的権利
6 同 （3）市民の権利と義務
7 議会
8 内閣と行政
9 地方自治
10 裁判

【評価方法】 筆記試験
【授業科目名】 市民生活と法
【担当者】 工藤 繁裕

【開講期】 1年後期

【授業目標】
日常生活を法の目から眺め、同時に日常生活を規制しているこの法そのものについて考えることを通じて、法的な考え方を身につけることを目標とする。

【テキスト・参考書】
テキスト、参考書：考慮中

授業計画

現代社会生活の一領域、一局面をピックアップし、一話完結の形で進める。各テーマでは、その実態・規範・判例を検討し、その問題点を考える。現在予定しているテーマは以下の通りであるが、ほかにも、女性、消費生活、差別、税金、高齢化社会、社会保障など、いわば無数にある。可能な限り、受講者の希望も取り入れて決めることとする。

1 生命と法
2 家族と法
3 教育と法
4 労働と法
5 情報と法
6 医療と法
7 犯罪と法
8 環境と法
9 地域社会と法
10 国際社会と法

【評価方法】 筆記試験
政治学入門

【授業科目名】 政治学入門
【担当者】 加地 直紀
【開講期】 1年間期
【授業目標】 政治とは①利害の調整、②権力闘争であることを、
政治制度、政治思想、国内外の政治の実態に関する解説を
とおして理解していただくことを目標とする。

【テキスト・参考書】
テキスト：中村勝彦『世論自由』第11巻（慶應通信、昭和36年）

授業計画

政治とは、対立する国民の利害を調整することであり、また
権力闘争である。したがって政治には、生身の人間の欲望が
渦巻いており、倫理や道徳を欠き去った状態である。
汚職政治家が有権な政治家でもある、という皮肉な面もある。
この授業では、道徳は欠かせない政治のダイナミズムについて、
具體的な出来事を通して解説する。

だいたり以下の手順で授業をすすめる。
① 政治制度の解説
② 政治思想の解説
③ 国内政治について
④ 国際政治について

【評価方法】
① 筆記試験
② ポートフォリオ
③ 平常点（出題はなし・質問等）
【授業科目名】 生活の経済学
【担当者】 内山 哲朗

【開講期】 1年間期

【授業目標】
経済の基本的な仕組みを理解し、《生活と経済》の関連をめぐる基礎的な知識の習得をめざす。同時に、社会的な諸事象を《経済学の眼》で見る方法の重要性について学習する。

【テキスト・参考書】
テキスト：池上信『経済学への招待』（有斐閣、1994年）
参考書：講義において適宜紹介する。

授業計画

人間の《生活》の営みを《いのちとくらしの再生産》としてとらえ、《いのちとくらしの再生産》が「豊かになる」ということが本来的にどのような意味であるのかについて、以下のテーマを中心にしながら講義を進めていく。必要に応じて、ビデオによる学習も取り入れる予定である。

(1) 人間の《生活》と欲求の発展段階
(2) 人間の欲求と市場経済
(3) 世界の経済体制
(4) 戦後日本経済と産業構造の変化
(5) 経済のサービス化・ソフト化
(6) 経済成長と企業社会
(7) 地球環境問題と経済構造の転換
(8) 世界経済のなかの日本
(9) アジア経済のなかの日本
(0) 《生活の豊かさ》と経済政策

【評価方法】
学期末試験の成績と授業への出席等を勘案して総合的に評価する。
【授業科目名】 マスコミニュケーション概論
【担当者】 瀬木 博道

【開講期】 1年前期

【授業目標】 現代はマスコミ支配の時代ともいえる。
このマスコミを初めから選んで上げ、マスコミ、ジャーナリズムの特徴を解説し、社会に及ぼす影響について考えて行きたい。

【テキスト・参考書】
瀬木博道・小倉重男著「コミュニケーションするPR」

授業計画

○ マスコミとは何か、その現状（上）
○ 同上（下）
○ 日本の新聞報道の問題点—外電を中心に
○ 日本の新聞経営の問題点
○ ジャーナリズムとは
○ ジャーナリズムの文化的基盤
○ 記者クラブの問題点
○ 報道PR活動—パブリシティと広告
○ 言論の自由、知る権利
○ 日米ジャーナリズムの比較考察
○ テレビ報道の問題点
○ マスコミのあり—新聞を中心に

【評価方法】
【授業科目名】 現代社会と女性
【担当者】富永静枝

【開講期】 1年前期

【授業目標】
男女共生社会に向けて、伝統的な性別役割分業を見直し、21世紀に生きる男女の望ましいあり方や、生き方を探る。

【テキスト・参考書】 テキスト:使用しない。
参考書: 小松崎喜子著『私の女性学講義』ミネルヴァ書房
『婦人白書』婦人団体連合会編、ほるぷ出版

授業計画

雇用機会均等法や育児休業法の導入など、女性をめぐる社会的状況は近年大きく変化した。一方、不況下における女子学生の厳しい就職差別などに見られるように、女性が社会に出てから一人の人間として、自立して主体的に生きることは相変わらず困難な状況にある。
そこで変動する現代社会の諸問題、とりわけ家族、労働、教育、福祉の諸問題を女性の視点から考えてみることによって、現代の女性および男性がいかに生きている問題を明らかにし、21世紀に生きる男性と女性の望ましいあり方や社会システムについて考える。
内容は
(1) 女性のライフサイクルの変化と性別役割分業、
(2) 現代社会と女性労働
(3) 高齢(化)社会と女性・家族・家庭
(4) 男女共生社会に向けての世界の動き・日本の動き
の4テーマとし、それぞれ2~3回講義する予定である。ただし学生の問題関心の寄せ方がよってテーマ毎の講義回数は変更することもある。

授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加える。また身近な問題なども取り上げることによって、それらの諸問題が学生自身の現在と将来における自分自身の問題であることを認識できるようにし、問題解決への意欲を持てるようにしたい。（なおの授業終了は教科書と女子科の学生を対象とした科目である。教養科の学生は専門科目の现代女性社会に詳しくする予定なので教養科の学生はそれらを意識して下さい）

【評価方法】
学期末のレポートの他平常時にときどき実施するミニレポート。
【授業科目名】 自然科学史
【担当者】 柳下 登
【開講期】 1年後期

【授業目標】 人間は自然を理解すること無しには生活をしていけない。人間の生活に科学することの原点がある。人間は科学することで、自己を変革し、より人間らしい人間になって来た。科学することとは真善美を追求する文化系の諸活動と同様である。ここでは人間を基軸に科学の足跡を追うことにする。

【テキスト・参考書】
テキスト：使用しない
参考書：サートン『科学史と新ヒューマニズム』岩波新書
シンガー『科学思想のあゆみ』岩波書店 ほか

授業計画

1) 科学を成り立たせた人間の条件
2) 道具の発見と人間
3) 火の発見と人間
4) 農耕のおこりと人間
5) 地動説と人間
6) ニュートン力学と人間
7) 波でもあり粒子でもある物質の発見と人間
8) 生命起源、生物進化と人間
9) 原子論から原子核の発見と人間
10) バイオサイエンスと人間
11) 現代宇宙論と人間
12) 世界最古の紙『バビルス』紙の作製実習

【評価方法】
レポートならびに受講態度
生命の科学

【授業科目名】
【担当者】吉川研二

【開講期】1年前期

【授業目標】
生物学は人間が生きていく上で最も大切な基礎学問です。なぜなら私たちは多くの生物に依存して生命を維持しています。清浄な空気や水、土壌は生物たちの共同作業によって生み出され、食糧や医薬品、日用品など多様な資源として利用しています。一般には難しいといわれる生物学ですが、現代を生きる人間の必修教義として学んでほしい。

【テキスト・参考書】
プリント（複数の書籍を参考資料として使用する。）

授業計画

地球上に生命が誕生してから35億年、多種多様な生物が登場し、繁栄し、消滅してきました。しかしながら、生命の設計図である遺伝子、すなわちDNAは生命の誕生から現在まで脈々と伝えられてきました。顕微鏡でしか見ることのできない微生物から巨大な生物であるクジラやセコイアまで、その基本は同じです。基本は同じでも、生物を比べて見るとその形、生態、行動など一つとして同じものはありません。私たちが今見ている生物はそれぞれが進化し、生きた姿なのでです。何故こんなにも多様な生物が存在するのでしょうか。

エイズ、アレルギー、遺伝病、人口や資源、環境など生物学に関わる問題は山積みしています。生物学はまた日進月歩の学問です。農学、医学、薬学、栄養学、遺伝子工学、心理学など応用分野も多方面にわたっています。授業ではいくつかの生物学の話題を拾いながら、生命について、生命現象の謎について紹介していきます。

- 生きているとは？
- 生命の起源
- DNA学
- 種とは何か
- 性の誕生
- 病気と闘う
- 環境問題
- 生命の共生
- バイオエシックス

【評価方法】
- レポート
- 筆記試験
授業科目名：生物と環境
担当者：小作明則

開講期：1年後期

授業計画

全ての地球上の生物は必ず環境という枠の中で生れ、生活し、滅んでいきます。今日、地球上のあらゆる環境は「ヒト」の経済活動のために地球誕生50億年の間で最も激しく、そして経験したことのないかたちで環境条件が激変している時代に直面しています。このような状況の中で「生物と環境」の講義ではまず地球上で生活している生物がその生物を取り巻く環境とどのような関連をもって生活しているかについて概説し、次に生物を取り巻く環境の変化とその生物の対応について具体的かつ生態学的見地からの理解を深めます。そして最終的にヒトという動物の存在が地球環境にどのような歴史的かつ経済的背景をもって影響を及ぼしてきたかについて学んでもらいたいと考えています。以上述べたことは現在大きな問題となっている種々の「地球環境問題」を理解し、それにたいして我々がどのような問題意識をもち、さらに具体的対応策を個人のレベルで立てていくことができるかを考える際の手引きになるよう構成するつもりです。

講義の中ではできるだけ実物の生き物に接する機会を作り、疑似的体験でわない、直接体験の機会を多く持つたいと思っています。

評価方法

① 筆記試験
② レポート
【授業科目名】 生活の科学

【開講期】 1年前期

【授業目標】
現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住並びに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している分子や原子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本講義の主眼としている。

【テキスト・参考書】
授業の中で項目ごとに紹介する。

### 授業計画

物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。

1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。
2. 身の回りにある水分子の世界を観る。
3. 原子と分子と私たちの生活。
4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。
5. 物質をつくっている分子の構造は何によってきまるのだろうか。
6. 物質の性状は何によってきまるのだろうか。
7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。
8. 酔は何故酸っぱく感じるのだろうか。
9. アルコールの正体は何であろうか。
10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。
11. 老化は防げるか。活性酸素の科学。
12. 物質科学とエネルギー
13. 物質科学から見た衣類。高分子化学の世界をみる。
14. 石油資源と石油化学を考える。
15. 科学は地球を救えるか。

【評価方法】 試験、レポート、出欠により評価する。
【授業科目名】 健康の生理学
【担当者】 境 広志

【開講期】 1年後期

【授業目標】
より積極的・創造的で高度な健康を獲得するためには「自分の健康は自分で管理する」という意識を持つことが大切である。本講では、健康管理に必要な様々な知識を身につけ、それらを生活のなかで実践していくことを目標とする。

【テキスト・参考書】
《テキスト》使用しない
《参考書》 参考図書・文献等は講義のなかで紹介していく

授業計画

健康の生理学では、現代人の健康問題（成人病・ＡＩＤＳ・ストレス・栄養・環境問題・食品添加物…）についてを取り上げ、それらを通してより積極的・創造的で高度な健康を獲得するために必要な事項について考えていく。また、健康づくりのためにスポーツを日常生活のなかに取り入れていく場合、目的に応じてどのように実践していけば最大限の効果が得られるかについて最新の情報やデータを紹介しながら深く学習していく。主な内容は以下のとおりである。

1) 成人病の予防
2) 免疫とＡＩＤＳ
3) 長寿の科学
4) 子どもの健康とスポーツ
5) 姿勢と健康
6) 健康づくりのためのスポーツ
7) スポーツ傷害と健康
8) ストレス
9) 食生活と健康
10) 食品の安全性
11) 環境問題と健康

【評価方法】
① 課題レポート
② 授業時の感想文（不定期）
【授業科目名】宇宙と地球
【担当者】杉村 新

【開講期】1年前期

【授業目標】ただ眺めていればロマンチックな星も、自然科学では物質とエネルギーの塊にすぎない。そう考えると、地球はただの惑星の一つ。この授業では、主として地球について、特に神戸のような地方都市の住民が考えることのできることを学ぶ。

【テキスト・参考書】
- テキスト：「新訂地学図解」（カー学習社）
- 参考書（指定図書）：「図解地学工程A」（カー学習社）

授業計画

授業はテキストに従い、スライドを映しながら講義する。毎回スライドを映しながら授業する。授業はテキストの順序通りではない。順序未定。

内容の概要：
- 資源と人間生活
- 地球の活動と災害
- 太陽の活動と人間生活

【評価方法】特例不可のテストで成績をつける。自然科は暗記する必要がないから、教科書のまま暗記はダメ。内容の理解の程度を判断して採点する。

-26-
【授業科目名】 数の科学
【担当者】 人来院 ひさ子

【開講期】 1年前期

【授業目標】
日常の身の回りにあふれる情報について、その意味を考え正しく理解するために、
数学的に分析するさまざまな手法を学ぶ。

【テキスト・参考書】
プリントを配布

授業計画

なるべく身近なデータを使ってそれらの意味をとらえるところを考えることから
はじまって、広い視野で物事をとらえる視点を身に付ける。
対数の意味と対数目盛によるデータの観察
累積値の見方
いろいろな統計的数値
箱ひげ図
ロジット変換
散布図と相関関係
乱数について
確率と確率分布

【評価方法】
期末にテストを行う
<table>
<thead>
<tr>
<th>タイトル</th>
<th>総合英語 I</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>責任者</td>
<td>清野 茂子</td>
</tr>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>1年前期・1年後期</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【授業目標】
現在扱われている興味ある話題をもとに、英語の読み書き、話す、聴くの4つの基礎をより一層確かなものにして、英語を身近な言葉としていきたい。

【テキスト・参考書】
未定

授業計画

【評価方法】
【授業科目名】 総合英語I
【担当者】 後藤 玲子

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】
日本で現在発行されている英字新聞4紙の記事を、速読可能なレベルにrewriteされたテキストとテープを使って、「速く、要点を把握しながら読む」練習を続け、実際の英字新聞が読めるようになることを目標とする。また、読んだ英語を受容レベル（listening, reading）にとどめず、活用レベル（speaking, writing）への転化を図っていく。

【テキスト・参考書】
Speed Reading in Action （『英文速読演習』）
Gary Cantor・武田修一・高取 清. 1993年. 桐栄書店. 1480円。

授業計画

第一回目 — Introduction
・「読むこと」の多様性について
・新聞英語について
・「速く」読むには……

それ以降 毎回テキストを1ユニットずつ学習していく。
Unit 1 : Attitudes About Leisure Changing
  " 2 : Mongolian Wrestlers
  " 3 : The Good, The Bad, And Cholesterol
  " 23 : Bad Bashing
  " 24 : Asians Celebrate Success At the Winter Olympics

また、途中実際の英字新聞の記事をいくつか取り上げて、読んでいく。

【評価方法】
平常点と試験
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>総合英語Ⅰ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>担当者</td>
<td>長尾主税</td>
</tr>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>1年前期・1年後期</td>
</tr>
<tr>
<td>授業目標</td>
<td>読むことや听说する、書き書くことに関連できることを「総合的に、高めることを目標にします。</td>
</tr>
<tr>
<td>テキスト・参考書</td>
<td>開講時に指定します</td>
</tr>
</tbody>
</table>

**授業計画**

上に掲げた4つの能力は、無論個別にしたものではなく、「全て」を連動させることを肝要です。

リーディング：テキスト以外にも、新聞、雑誌から、歌詞、観光でパンフレット、広告、映画、絵画における「読み解き」、情報を探す読みかた、楽しむために読む「読み方」の両方を訓練します。

リスニング：英語の音声を接近し、聴く強さは、人には、ふつうにしか聞くデヴィッド・スコット・ジャーナルの発音か、非常に早拾いなこともしかありません。これを乗り越え、一連の、言語の基礎を意味を伴って聴くと、できるように、ビデオやテープ、テープを用いて反復練習を行います。

スピーキング：基本的な文法を除き、文法を覚えるとする、口として表現するようにします。簡単な自己紹介からはじめ、できるだけ短いセクションを通じて、相手に意を伝える訓練をします。

ライティング：与えられた日本語で、英語に移しやすくなる、自分の考えを簡潔で表現する力を練習をします。

**評価方法**

試験の成績を公平に加えて評価します。
【授業科目名】 総合英語 I
【担当者】 森田 賢澄
【開講期】 1年前期・1年後期
【授業目標】
ビデオ・ムービーを併用し、教科書（映画の関係）を読むだけではない、コミュニケーションを主眼に置いた授業を行います。映画を原語で味わう楽しさ、外国語を理解する喜びを知って頂きたいと思います。

【テキスト・参考書】
"Best American Screenplays for Students" 「総合英語：あの映画、あの名場面」
発行 2000円

授業計画
受講者は、授業に出る前にテキストの宿題の部分を必ず読んでおく事が前提のクラスです。
前期に "It Happened One Night" （或る夜の出来事）、後期に "Gone with the Wind" （風と共に去りぬ）各々の、ハイトジーンをかバーする予定です。

【評価方法】
(1) 原則として、毎週、授業中に小テストを行います。
(2) 授業への参加度（質問、発言の有無）を、毎授業中にチェックします。
  (Class Participation ---- CP)
(3) 映画及び授業に対する感想を、日本語でレポート用紙に1枚以上書いて頂きます。
以上の三項目で評価します。
評価の内訳は、(1) --- 80% （2）--- 20% （3）--- 期限までに提出すれば、OKです。
【授業科目名】  選択語学Ⅰ  英語1・4（オーラルコミュニケーション）
【担当者】  藤原 真澄

【開講期】  1年前期・1年後期

【授業目標】
会話が成立するためには、先ず相手の言う事が理解できなくてはなりません。基礎的なリスニングを
集中的に行い、聞き取る能力を高め、又、授業中の質問、応答を可能な限り英語で行う事により、
初步的なスピーキング能力の向上も試みます。

【テキスト・参考書】
"Listen First"  Oxford University Press 発行 1330円
"Listen for It --- New Edition"  Oxford University Press 発行 1700円

授業計画
前期の前半で"Listen First"を終了し受講者のレベルをみた上で、できるだけ早く"Listen for It"
に移る予定です。

【評価方法】
(1) 原則として、毎週、授業中にテストを行います。（3回目予定）
(2) 授業への参加度（質問、発言の有無）を、毎授業中にチェックします。
    （Class Participation ----- CP）
以上の二点で評価します。
評価の内訳は、(1) ----- 90％ (2) ----- 10％
【授業科目名】 選択語学Ⅰ 英語2（オーラル・コミュニケーション）
【担当者】 ベル 清子

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】

【テキスト・参考書】
なし

授業計画

教師のオリジナル作業（コミュニケーション・タスク）を2技能（リスニングとスピーキング）を使ってこなしでもらう。クラス内発表という形になる。作業は1人、ペアの時あり、複数のグループの時にはある。作業の内容は、あるトピックに対しての自分の意見を述べたり、対外を製作・発表したり、問題解決したり-----その他はお楽しみ!
選択のオーラル・コミュニケーションなのですべて英語でやる。クラスはやさしいレベルから始めるので、英語がヘタだからというもの配慮無用。ただし、英語を使用してクラスメートとコミュニケーションするのに抵抗がない人を望む。体育の実技と同じに考えるし、また仲間と一緒に作業することがあるので毎回の出席が望まれる。

【評価方法】
クラス参加と発表するタスクの内容と質によって評価するので前期・後期タスクなし。
【授業科目名】 選択語学Ⅰ 英語3（コミュニケーション）
【担当者】 清野 茂子

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】
オール・コミュニケーションを主体に、英語の知識を整理統合し、反復練習をしながら、基礎をしっかり身につけることを目的とする。

【テキスト・参考書】
未定

授業計画

【評価方法】
【授業科目名】選択語学Ⅰ 英語Ⅴ（フィクション講読）

【担当者】中島好伸

【開講期】1年前期・1年後期

【授業目標】
英米の小説（なるべく平易な現代小説）を原文で読むことで、語彙力を高めながら英語という言語の豊かさを味わい、その言語によって作られた作品世界的独自性を味わえるようにする。

【テキスト・参考書】
未定

授業計画

小説を読むのは楽しいものです。外国の小説を翻訳で読むのも楽しそうにおいては同じです。しかし、翻訳で読むと、訳者の意志が反映されるのは言うまでもなく、原文の持つ味わいも失われていることを覚えておきましょう。できれば、原文で読みたいものです。そのためには、読めるまで多少の努力が必要になります。この授業は、この多少の努力に対して援助しようとするものです。読めば読むほど意志があれば、だれでも必ず読めるようになるものです。

授業では、毎回レポーターを決めます。最初のうちは2、3人で、一人の分担は2ページから始めます。レポーターは細かく辞書を引いて、内容を要約し、それをノートにまとめておきます。授業でそれを発表してもらい、受講生みんなで内容の討論を行います。慣れて来たら、一人当たりのレポートの分量も増やし、レポーターの人数も増やして行こうと思います。

これで一年間に幾つかの小説を読むことができるでしょうか。

年に数回のレポートも書いてもらいます。

【評価方法】
年に数回のレポートと、授業時のレポーターの内容に出席を加味して評価します。

-35-
【授業科目名】 選択語学Ⅰ 英語6（フィクション講読） 【担当者】 後藤 玲子

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】
英米文学の中から判然小説8編が収められているテキストを使って、ていねいに英文を読みながら、
人間の真実の瞬間における様々な愛の形について考えていく。

【テキスト・参考書】
Aspects of Love （『愛の諸相—鑑賞から表現へ』）
Maureen Lamarche・野谷啓二，1995年，朝日出版社，1700円

授業計画

前・後期それぞれ4編ずつディスカッションをしながら読んでいく。収められた作品は以下の通り。
- "The Story of an Hour" by Kate Chopin
- "A Telephone Call" by Dorothy Parker
- "Lispeth" by Rudyard Kipling
- "Sweetheart Sweetheart Sweetheart" by William Saroyan
- "Breakfast" by John Steinbeck
- "Up in Michigan" by Ernest Hemingway
- "Roman Fever (1)" by Edith Wharton
- "Roman Fever (2)"

また、文学作品から映画化されたものの中から、前・後期1本ずつ映画も見てみたい。
- East of Eden （『エデンの東』），1955年，原作 John Steinbeck，監督 Elia Kazan
- Age of Innocence （『無垢の時代』），1993年，原作 Edith Wharton，監督 Martin Scorsese
を予定しているが、要望があれば変更も可能。

【評価方法】
平常点とレポート
授業科目名 | 選択語学Ⅰ 英語7（ライティング）
---|---
【開講期】| 1年前期・1年後期
【授業目標】
今日の社会において議論を呼んでいる話題について書かれた英文を読んで、それらの諸問題に対する自分の意見を英語で表現する力を養う。
【テキスト・参考書】
Viewpoints: For and Against （『自分の意見のまとめ』）
Vance E. Johnson, 1995年, 金星堂, 1700円。

授業計画

最近よく「発信型の英語」という言葉を耳にしますが、「発信型の英語」とはどういうものなのでしょう。それは、つまり英語を聞いて理解できる・読んで理解できるという受容のレベルからさらに一歩進み、そこで理解したメッセージに対して、自分のメッセージを言葉で語り、あるいは文字に書いて相手に伝えられる英語力であろうかと私は考えます。

一般に、前者、つまり聞いて、または読んでわかる言葉を「受容言語」、後者、つまり発音できるまたはその文字を書ける言葉を「活用言語」と呼ばれ、その比率は約4対1程度と考えられるという心理言語学からのデータがあります。けれども、果たしてこれまで蓄積してきた語彙の1分の1を実際に活用できるかと問われれば答えは「No」かもしれません。その理由の1つは、ただ単に、自分で主体的に自分の言いたいことを表現する練習をあまりやってこなかった、ということにあると思います。

「喫煙は公共の場では禁煙すべきか？」、「日本ではセクハラは頻繁に起こっているのか？」、「お見合い結婚は結婚するための良い方法か？」、「日本の学校において、歴史教育は十分に行われているか？」、「日本において外国人は差別されているか？」といった今日的な話題について、まずは問題点を理解し、次にその質問両方の意見をふまえ、最後に自分の意見をまとめて発表するというプロセスで授業を進めていきます。
さらなるディスカッションに発展することをめざしつつ。

【評価方法】
平常点と試験
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>選択語学Ⅰ 英語8（ライティング）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>担当者</td>
<td>清野 茂子</td>
</tr>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>1年前期・1年後期</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【授業目標】
自分の思っていることを英語で考え、英語で表現して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てたい。

【テキスト・参考書】
未定

授業計画

【評価方法】
授業科目名  選択語学Ⅰ（独語Ⅰ）
担当者  正路 妙子

開講期  1年前期・1年後期

授業目標
基礎的な文法をマスターし、ドイツ語を聞き、話し、読む力を養うことを目指す。

テキスト・参考書
信岡・ドイツの言葉と社会事情（郁文社）
ドイツ語を聞いてはなして（白水社）

授業計画
2時間続きの授業のうち、前半で文字と発音の関係をしっかり学び、テープを使って発音のトレーニングを行い、発音記号なしで読めるように指導する。その後文法説明に入っていくわけだが、動詞の活用と冠詞類の用法の説明に重点を置いて授業く進めていく。文法の説明の後に、まとめとして付いている問題は自宅でまえもって学習してくること。

後半で
1．基礎的な会話のパターン練習を最初に行う。
2．続いて、テープを聴きながら、どの程度に内容が把握できたかどうかを確認する問題に取り組む。
3．最後にまとめとして、今まで出てきた単語をまとめ、語彙を拡大するための作を行う。

評価方法
平常の授業の中で行なう文法確認テストと定期試験の成績を総合して判定する。
【授業科目名】 選択語学 I (仏語 I)  
【担当者】 村山 知恵

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】
フランス語の初歩を楽しくマスターできるようにする。

【テキスト・参考書】
"Bien venue en France" Tome 1  
Hatier Didier

授 業 計 画

1) 授業の最初にビデオを見せ、聞き、発音を練習する。  
2) 文法の説明はプリント
3) 練習問題もプリント

【評価方法】
前期、後期とも筆記試験
【授業科目名】 スポーツA（テニス）
【担当者】 岡田 光弘
【開講期】 1 年前期

【授業目標】
生涯スポーツのために必要となる基本的な技術、知識、態度を自ら学ぶこと

【テキスト・参考書】
テニス教本 (社) 日本テニス協会編
新テニスの科学 日本テニス研究会/テニスジャーナル編

授業計画

1. フォアハンド・ポレー
2. バックハンド・ポレー
3. フォアハンド・ストローク
4. バックハンド・ストローク
5. サービス
6. レシーブ
7. オーバーヘッド
8. バリエーションショット

毎の各技術を学んだりのち
ゲームの進行法、ルール
実際のゲーム
と順次進めていく。

【評価方法】
技術 40％
態度 40％
知識 20％
とし、欠席、遅刻、早退を除き、合計点を算出する。知識については小テストを行う。
【授業科目名】 スポーツA（卓球とバドミントン）
【担当者】 松岡 由紀子
【開講期】 1年前期（後期）

【授業目標】
- スポーツすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進を
- 精神的ストレスを解放する。
- 運動技能と知識の習得及び態度の育成。

【テキスト・参考書】

授業計画

卓球とバドミントン

○卓球
技能練習とゲーム
1. ボールの慣らし
2. 練習振りと正しいストローク
3. フォアハンド・バックハンドショート、ツックスキの練習
4. バスケットボールルールプレー
5. 正規のサービスの出し方（変化サービスも）
6. 各種打法の練習
7. ゲームとルール、審判法

○バドミントン
技能練習とゲーム
1. クリップとシャトルコックの慣らし
2. ストロークの練習（オーバーヘッドストローク、スムッシュ、バックハンドストローク）
3. サービスの練習（ロングポイントサービス、ショートサービス）
4. 集団技能の練習
5. ゲームとルール、審判法

【評価方法】
平常点とゲーム中に採点
<table>
<thead>
<tr>
<th>【授業科目名】</th>
<th>スポーツA (L-4-3-4)</th>
<th>【担当者】</th>
<th>池森 隆虎</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>【開講期】</td>
<td>1年後期</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>【授業目標】</td>
<td>6人制バレーボールをルールに則って楽しく行えるようになることを目標とする。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>【テキスト・参考書】</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>授業計画</th>
</tr>
</thead>
</table>

基本動作の説明と技術練習
（オーバーハンド・アンターグラブのリシーブ及びスパイク、サーブ）
ルール及び基本的作戦の説明と実践
（ゲーム進行、得点、審判法、ポジショニング）
ゲームの実践
（リーグ戦）

<table>
<thead>
<tr>
<th>【評価方法】</th>
</tr>
</thead>
</table>
出席を重視、その他として参加態度、習熟度、技術度、等を加点対象として考慮する。
【授業科目名】 スポーツA（エアロビクス）
【担当者】 高野 牧子

【開講期】 1年後期

【授業目標】 「エアロビクス・ダンス」を取り上げ、自分の身体を正しく認識し、各自のペースで楽しく効率的に、健康増進と体力増強をはかるとともに、生涯にわたって積極的に身体活動を行なう態度の育成を目標とする。さらに、ダンスの特性を活かし、自分の表現手段として動きの創造性を養っていく。

【テキスト・参考書】
- テキスト 使用しない
- 参考書 ケネス・H・クーパー、加藤橋夫監修『エアロビクス』
  ベースボール・マガジン社

授業計画

「エアロビクス」とは本来、アメリカのケネス・クーパー博士が提唱した有酸素運動によるトレーニング法であり、1970年代ダンスと結び付き、エアロビクス・ダンスとして急速に展開した。心肺機能を高めるだけでなく、柔軟性や調整力を鍛える効果がある。授業では心拍数と運動強度を理解した上で、各自の目標心拍数を算出し、運動を行なっていく。またより効果を高める為に、単に動きを模倣するだけでなく、実際に動かしている自分の筋肉を知覚し、さらに自分の動きをVTRで見ることにより、自分の身体を正しく認識し、改善する様、努める。

授業はリズムにのって楽しく動くことを基本に以下の様に進めていく。

①「エアロビクス」の知識 心拍数と運動強度、目標心拍数など
②基本的なステップの習得
③VTRによる基本的ステップの確認
④応用ステップの習得
⑤VTRによる応用ステップの確認
⑥ステップの創作・練習
⑦発表・VTR

【評価方法】
①平常点（出席点及び活動態度・関心・意欲）を重視し、
②実技発表点を20点程度まで加算する。
授業科目名: スポーツB（キャンプ）
担当者: 村田 務

開講期: 7月集中

授業目標
自然環境の中での集団活動を通して、健康的生活を営むための能力と態度を育てる。
・野外活動に必要な知識と技能及び判断能力
・健康的で強靭な「ここころ」と「からだ」
・自然を親しみ愛好する態度、野外活動への参加意欲

テキスト・参考書
参考書: 野外レク研究会、レクリエーションキャンプ、成美堂。
         野外レク研究会、野外レクリエーション、成美堂。
         山崎安治、登山、旺文社。

授業計画

生活の場から自然が失われ、自然との共存が課題となってきた今日、自然を活用した野外活動は、健康の増進やレクリエーションとしての効果が極めて大である。しかし、野外での活動は、さまざまな自然的環境の影響を受けやすく、事故災害にもつながりやすい特性をもっている。
そこで、授業では、特に、野外活動における適切な判断能力の育成と将来に向け、ての意欲つくりに留意して実施したい。

１、日程
1995年7月12日（水）9:00～12:00am 事前指導
   26日（水）～29日（土） 野外活動
   29日（土） 事後指導

２、場所
学内、「山のふるさと村キャンプ場」（東京都奥多摩町）

３、参加者
学生28名、教員3名

４、内容
事前指導: 運営組織・装備・食事等の理解と計画・準備
   第１日目: テント設営、食事
   第２日目: 登山、食事
   第３日目: ネイチャートレイル、キャンプファイアー、食事
   第４日目: 食事、テント撤収
   事後指導: 装備の点検・補修、反省評価

５、費用
約8,000円（食料費、交通費等）

評価方法
平常試験（平常点、実技等）
【授業科目名】 健康科学
【担当者】 村田 務

【開講期】 1年前期

【授業目標】
人間性豊かな健康生活を確立するために必要な能力と態度を育てる。
・今日の健康問題について
・健康の成立要因について
・健康設計と健康処方について

【テキスト・参考書】
テキスト：余土正彦・正木健雄監修・青年の健康と運動、現代教育社、1995年。
参考書：師岡孝次編、長寿の健康科学、日本プランニングセンター、1994年。
：大森正英他著：健康の科学、中央法規、1992年。他

授業計画

人間性豊かな健康生活を営むためには、健康問題の本質を正しく捉え、解決に向けての適切な判断力と実践能力が必要となる。また、今日の健康問題は、その多くが社会文化的な環境に大きな影響をうけており、「ひと」の心理的側面、社会的側面、及び文化的側面を抜きにしては考えられない。

授業では、このような観点から、健康科学（疾病予防と健康増進の科学）の知見や考え方について解説する。

1、健康科学の概念
2、現代人の生活と健康
3、疾病の疫学と健康の成立
4、主体と健康
5、環境と健康
6、保健医療体制と健康
7、保健行動科学の考え方
8、健康問題Ⅰ（成人病）
9、健康問題Ⅱ（性の健康問題）
10、健康問題Ⅲ（こころの健康問題）
11、健康問題Ⅳ（女性の健康問題）
12、健康生活の設計と処方

【評価方法】
定期試験（ペーパーテスト）及び平常試験（レポート、平常点）
授業科目名：スポーツ科学
担当者：岡田 光弘
開講期：1年後期

授業目標
スポーツを楽しみ、健康な生活を送るためのスポーツ科学的教養を授かる

テキスト・参考書
テニス教本 (社) 日本プロテニス協会 編

授業計画

1. スポーツ科学とスポーツ実践
2. スポーツ科学と観客
3. テニスについて (I)
4. テニスについて (II)
5. 武道について
6. 芸能について
7. サッカーのエラメゾンジー
8. ヒーローインパクトの会議分析
等
主に、社会学的視点からスポーツ現象を扱う。

評価方法
各回に提出するレポートを基に、知識、態度を評価する。
専門教育科目（1年）
授業科目名：心理学序説
【担当者】：神田信彦

開講期：1年前期

授業目標
心理学の基本的用語や方法論を学び、心理学的な視点を身につける。

テキスト・参考書
テキスト：水口礼治『市民のための心理学』（福村出版）
参考書：随時紹介する

授業計画
これから2年間にわたり学んでいく様々な領域の心理学についておおよその全体像を提示し、個々の領域の心理学に対する理解の助けとしたい。

以下の内容を中心に進めていく。

Ⅰ. 心理学とは
   1. 心理学の目標
   2. 心理学の方法

Ⅱ. 行動の理解
   1. 学習と記憶
   2. 言語と思考
   3. 知覚と認知
   4. 動機づけと情動

Ⅲ. 適応のメカニズム
   1. 人格
   2. ストレスと対処

評価方法：数回の小テスト及び定期試験の成績による
【授業科目名】 青年心理学
【担当者】 林 潔

【開講期】 1年前期

【授業目標】
青年期の行動様式について学習する。

【テキスト・参考書】
未定：別途連絡
指定図書：図書館

授業計画

1. 青年心理学の位置づけ
   教育心理学の一分野としての発達心理学。さらにその一分野としての青年心理学。
2. 発達段階としての青年期
3. 発達課題とidentity
4. 青年期へのアプローチとその特色
5. libidoの発達と防衛機制：精神分析的アプローチ
6. 情意の発達
7. 愛情をめぐって
8. 価値観をめぐる問題
9. 適応障害

【評価方法】
平常点，中間試験，期末試験。
授業計画

前半では、胎生期から青年期までの各発達段階の全体的な流れを中心に講義を行う。
後半では、認知、言語・思考、情緒や社会性の発達などの領域ごとに発達のプロセスについて講義を行う。講義の進行状況によっては、成人期及び老年期についても取り上げたい。

1. 発達心理学とは
   ・発達の原理
   ・発達段階と発達課題
2. 胎生期与乳児期
   ・胎生期の発達の特徴
   ・乳児期心身の発達
3. 幼児期
   ・幼児期の心身の発達
4. 学童期
   ・学童期の心身の発達
5. 青年期（1）青年期前期
   ・思春期の心理
6. 青年期（2）青年期中・後期
   ・アイデンティティの再構築
7. 認知の発達
8. 言語・思考の発達
9. 情緒の発達
10. 社会性の発達

評価方法
定期試験の成績による
授業科目名 条件づけ
【担当者】 萩野七重

【開講期】 1年後期

【授業目標】 人間に行動の変容を引き起こす過程（学習）に見られる最も基本的な形態であり、
行動分析の手法でもある条件付けについて理解させることを目的とする。

【テキスト・参考書】 テキストとして下記のものを用いる。なお、このテキストは2年前期の
「記憶と思考」のテキストとしても用いていることがある。
「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著 （サイエンス社）

授業計画

1. 学習とはなにか

2. 古典的条件づけ

始めにI. P. パヴロフの行った古典的条件づけの典型的実験例によって、この条件づ
けについての基本的概念を確立し、さらに他の古典的条件づけの実験例、あるいは日常生活
に見られる事例を通じて、古典的条件づけについての理解を深める。また多くの実験に
よって明らかにされたところの、古典的条件づけに関連した現象や法則を示す。

テキスト 1章

3. オペラント条件づけ

B. F. スキナーの典型的実験例によって、オペラント条件づけとはどのようなものか、
古典的条件づけとどのように異なっているのかを明確にする。また多くの実験によって示
された、オペラント条件づけに関連した現象や法則を示し、オペラント条件づけによって
日常生活に見られるどのような事象を説明することができるか、またどのように教育や臨
床場面に応用されるかを示す。

テキスト 2章

4. 社会的学習

自分自身の直接的経験によってではなく、他人の経験や経験を見聞きすることで起こる
学習（社会的学習）のメカニズムを見ていく。

テキスト 4章

【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。
授業科目名：性格の形成

【開講期】 1年後期

【授業目標】
「自分らしさ」を各自ある程度実感できるまで、どのような過程を経て性格が形成されていくのか。従来の理論はもちろん受講生や講師の体験をふまえ、探索的に理解していく。

【テキスト・参考書】
テキスト：鷲本孝雄他編『性格の心理』（福村出版）
※必要に応じて、プリントを配布する予定。

授業計画
「自我同一性Identity」は青年期の発達課題と言われているが、これは輸入概念であるため、日本人にはもうひとつの「ピンとこない」感覚である。私達にとって「自分らしさ」とは何であろうか。それは、いつ頃から、どのような形で意識されるのか。それは、体質や環境によって、どのように規定されるのか。
講義では、性格形成に関する代表的な考えを紹介するが、同時に受講生の素朴な意見・疑問・ひらめきを尊重しながら、私達に「ピンとくる」知見を探してみたいと思う。

【評価方法】
出席状況と、レポートあるいは記述試験によって評価を行う。
【授業科目名】社会心理学
【担当者】倉澤寿之
【開講期】1年前期

【授業目標】
人間は社会的動物であり、「他者」の意味するところは大きい。この講義では自己意識、社会的影響、対人間距離などのトピックを通して、他者との間に存在する様々な問題を社会心理学的な視点から捉えなおすことの重要性を指導する。

【テキスト・参考書】
必要に応じて授業の際に紹介する。

授業計画

1. 自己意識
   ・自己意識とは
   ・自己意識の発生
   ・自己意識形成の要因
   ・自己客体視
   ・自己客体視の影響
   ・自己知覚
   ・自己知覚理論と認知的不協和理論
   ・帰属理論とその応用

2. 社会的影響（承諾を導く5原則＋1）
   ・「フット・イン・ザ・ドア」「ローポール」テクニックと一貫性の原理
   ・「ドア・イン・ザ・フェイス」テクニックと返報性の原理
   ・権威に対する服従
   ・自分と似た者への同調
   ・心理的リアクタンスと希少性の原理
   ・好意の利用

3. 対人間距離
   ・パーソナルスペース（個人空間）
   ・パーソナルスペースの特徴と大きさを左右する要因
   ・動物のパーソナルスペース
   ・なわばりとパーソナルスペース
   ・関係、活動の種類と距離

【評価方法】
期末試験（多肢選択形式、持ち込み不可）による。
まず神経系の分類と構造に関する知識を習得する。次に、神経細胞の発達的側面、および働きについて学ぶ。また神経細胞同士の情報伝達方法を学習し、環境から受ける刺激がどのように脳に伝えられ、どのように反応しているのか、あるいはどのように抑えられる可能性があるのかについて理解する。こうした知識を基礎に、実験例や脳損傷例などから脳内中枢機能についての代表的なものを学ぶ。さらに、神経細胞の情報伝達に必要な物質的基盤について学習し、心の病に対する生物学的なアプローチや、心に作用する薬物に対する基礎的な理解を得るようにする。

以下の項目に従って講義を進める予定である。

・心の座をもとめて
  [心身二元論、骨相学、機能局在論、神経回路]
・神経系を作り上げるもの
  [ニューロン、シナプス、グリア、保護組織、インパルス]
・インパルスの伝導とシナプス伝達
  [閾値、Na＋Kポンプ、跳躍伝導、全か無の法則、シナプス後電位、促通と抑制]
・末梢神経系の分類と構造
  [脊髄神経、脳神経、体性神経系、自律神経系]
・中枢神経系の分類と構造
  [脳幹、脳幹、小脳、間脳、基底核、辺縁系、大脳皮質]
・反射中枢 [脊髄反射、脳幹反射]
・脳の機能地図
  [感覚野、運動野、聴覚野、視覚野]
・脳の高次機能
  [失認、失行、失語、分割脳、健忘、連合野の機能]
・神経系に働く物質
  [神経伝達物質、イオンチャネル、精神薬]
・神経系の可塑性と機能再生
  [長期増強、発芽、神経成長因子(NGF)、膜タンパク質、代償]

【評価方法】
平常点として授業中の提出物50点と定期試験50点の合計により評価する。
【授業科目名】 基礎技法演習
【担当者】 藤本 立之

【開講期】 1年前期

【授業目標】
女性の心理のつくり方を「セラピー」と「文化論」の二つの視点から探求。これまでの心理学が持っていた男性中主義的な問題点を文化分析を通してあらかじめ、各自がその解決の方向を考える出発点とする。

【テキスト・参考書】
テキスト：L.アリハ・ウ・S.オハック「フェミニスト・セラピー」（新水社）
「現代のエスプリ1995/2＜女性の発達＞」（至文堂）
参考書：適宜紹介する

<table>
<thead>
<tr>
<th>授業計画</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>( \text{かつてフランスの作家シモーヌ・ド・ボーヴォワールは「ひとは女に生まれるのではなく、女になるのである」} ) といいましたが、我々は、日々の生活なかで、ともすればそのことを忘れがちになります。つまり、ひとは生物学的・心理的な意味での「女」あるいは「男」に生まれたからであるが、性別とは必ずしも性の性質であるとは限らないことになるのかが、実際には変化が見えるのは家族や文化（社会）を通してなのです。たとえば、そのことは、時代や文化が変われば「女らしさ」や「男らしさ」の変わってくることでわか ります。この授業では、ひとが女になる（あるいは男になる）過程に内在するさまざまな問題を考察することを通じて「セラピー」と「心理学」を見つめていると思います。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(1)授業計画と評価の基準・方法の説明
学生の自己紹介
※自己紹介を通じて、自分というものを現状においてどう評価しているかを知る
(2)フェミニスト・セラピーの位置づけ
＜対象関係理論とジェンダー・アイデンティティ＞
※ジェンダー・アイデンティティとは何か、そしてそれが社会的文脈の中で成立していることを理解する
(3)女らしさの構成　その1
＜母＝娘関係のなかで形成される心理＞
※自分の母娘関係を対象化する
(4)ビデオ観賞
「エミリーの未来」（予定）
※映画を通して母娘の関係を理解する
(5)女らしさの構成　その2
＜文化と性　日本のセクシャルハラスメントの現状＞
※自分達が生きている社会がどういう社会であるかを理解する
(6)女らしさ（男らしさ）の構成　その3
＜文化と性　メディア・レイプ＞
※メディアいかに性差別をつくりだし、維持しているかを理解する
(7)女らしさ（男らしさ）の構成　その4
＜文化と性　映画におけるジェンダー＞
※メディアいかに性差別をつくりだし、維持しているかを理解する
<table>
<thead>
<tr>
<th>教授科目名</th>
<th>基礎技法演習</th>
<th>担当者</th>
<th>常本 康之</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th><strong>授業計画</strong></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(8) フェミニスト・セラピー その1</td>
</tr>
<tr>
<td>＜セクシャル・アビューズの体験記を読む＞</td>
</tr>
<tr>
<td>※体験記に対し持った感想を通じて自己を理解する</td>
</tr>
<tr>
<td>(9) フェミニスト・セラピー その2</td>
</tr>
<tr>
<td>＜セラピストがやるべきこと＞</td>
</tr>
<tr>
<td>※セラピストに必要な最低限の技法を理解する</td>
</tr>
<tr>
<td>(10) グループ討論 未来に向けて</td>
</tr>
<tr>
<td>※グループ討論で、各自の意見を出し合う</td>
</tr>
<tr>
<td>(11) グループ討論の内容の発表と批判</td>
</tr>
<tr>
<td>※グループの意見の発表をしうるとともに、それへの批判をする</td>
</tr>
<tr>
<td>(12) まとめ</td>
</tr>
<tr>
<td>※女性心理と文化の関係を理解できたか</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【評価方法】

リポートと授業時の感想文
実験計画法

【開講期】 1年前期

【授業目標】
現代の心理学研究において実験のしめる役割は大きい。この授業では、「実験とはなにか？」から始めて、基礎的な用語、基本的計画、そして実験計画の諸異等について学習する。

【テキスト・参考書】
教科書 リトルR.L. & ジョナスH.H.（浅井邦二監訳）「心理学実験計画入門」
学芸社

授業計画

Ⅰ 多数被験者実験
（1）実験計画の論理
（2）従属変数と独立変数
（3）実験群と統制群
（4）独立被験者計画
（5）被験者釣り合わせ計画
（6）要因計画
（7）統制の諸問題
（8）実験計画批判

Ⅱ 少数被験者実験
（1）少数被験者実験の歴史
（2）少数被験者実験の特長
（3）概的行動と観察

Ⅲ 試験問題参考

【評価方法】
筆記試験
授業科目名  心理学演習 I  
【担当者】荻野、金子、神田、倉澤
多喜乃、八木、大木、中丸

【開講期】  1 年前期

【授業目標】
基礎的な心理学実験に参加し、実験者と被験者の両者が体験することから、実験心理学的な問題設定がどこにあり、人のどのような側面について検討を加えているのかを理解し、データに基づいて考察を進める態度を学ぶ。同時に、実験手法、データの収集と処理方法、数量化の工夫、レポートのまとめ方、などを習得する。

【テキスト・参考書】
各実験毎に実験方法、データ整理方法などをまとめたプリントを作成する。

授業計画

15〜16人のグループに別れて、授業時期内に終了するように計画された基礎実験を行う。担当教員から実験の目的と方法について説明を受けた上で、お互いに実験者と被験者になってデータを集める。実験は、1回の授業枠で終わる測定を中心とした簡単なシリーズ（実験A）と、条件設定を省し複雑にして2週にわたって実験を行うシリーズ（実験B）から構成される。実験Aでは測定結果を中心とした提出物で、実験Bの場合は各回ごとに教員から与えられる指示に従って実験レポートを作成し、次回の実験日の前日までに提出する。

実験と課題の提出が連続するので、特別の事情がない限り休んでしまうような注意して受講する必要がある。

実験のテーマとして、「年齢別」、「反応時間」、「視覚学習」、「精神テンポ」、「連合学習」、「系列位置効果」、「大きさの恒常性」、「同心円錯視」、「要求水準」、「色名呼称」、などを取り上げる予定である。グループ毎にテーマを入れ替えて実験を進めるためにグループで日程表が異なる。そのために第1回目のオリエンテーションで配布される日程表にしたがってグループ毎に教室に別れて授業を受けることになる。

全体の予定は以下の通り。

第1回  オリエンテーション、レポートの書き方
第2回  導入実験 <ミューラー・リッタ錯視>
第3回  実験A-1
第4回  実験A-2
第5回  実験B-1 その1
第6回  実験B-1 その2
第7回  実験A-3
第8回  レポート講評  <実験目的の理解、データの表現、書き方の注意など>
第9回  実験B-2 その1
第10回  実験B-2 その2
第11回  実験A-4
第12回  レポート講評  <実験結果の理解と考察、演習Ⅱに向けて>

【評価方法】
各実験に参加し、作成した提出物の平均点を基本として評価する。
【授業科目名】 心理学演習II
【担当者】 萩野、金子、神田、倉澤
多喜乃、八木、大木、中丸
【開講期】 1年後期
【授業目標】
演習Iでは実験室での基礎実験を中心としたが、演習IIでは課題に広がりを持たせて演習時間の長くとり、実験室に限定されない場面での調査やテスト、動物実験などを扱う。調査やテストでは、こうした手法が実用的なものにならないための工夫や代表的なデータ化の手法を学習する。また、動物の行動観察実験を経験し、人以外の動物と比較しながら人の行動を理解するアプローチを学習する。

【テキスト・参考書】
各実験毎に実験方法、データ整理方法などをまとめたプリントを配布する。

授業計画

進めるのは基本的に演習Iと同様にグループに別れて実験／調査等を行い、レポートにまとめて提出することを練る。ただし、演習IIでは2週間で1つのテーマを扱う。

授業計画

第1回 オリエンテーション、演習IIで求められる内容について
第2回 実験／調査1 その1
第3回 実験／調査1 その2
第4回 実験／調査2 その1
第5回 実験／調査2 その2
第6回 講評
第7回 実験／調査3 その1
第8回 実験／調査3 その2
第9回 講評および心理テスト
第10回 実験／調査4 その1
第11回 実験／調査4 その2
第12回 2年生卒業研究発表会参加

【評価方法】
各実験に参加し、作成したレポートの平均点を基本として評価する。
授業科目名 | 文献研究  
---|---  
【開講期】 | 1年後期  
【授業目標】 | ①心理学の考え方や方法について、基礎的な知識を得る。 <br>②文献の内容を報告するための、基礎的な技術を身につける。  
【テキスト・参考書】 | テキスト：三井宏隆「対人関係の心理学」（講談社ブルーバックス）<br>参考書：日向茂雄「発表する技術」（ごま書房）  
授業計画 |  
テキストは実験社会心理学の立場から書かれたものです。実験社会心理学は人が人と接するときの振舞い方を、実験的な手法を使って明らかにする学問です。そのため実験や調査の実例が具体的に紹介されています。そこでは振舞い方を数値に置き換え、図や表として表しています。  
授業ではこの領域の理論を検討しますが、受講生の皆さんは身近な経験と結び付けて考えて下さい。その理論で納得のいくこともあるでしょうし、「ちょっと違うな」と感じることもあるでしょう。ではどこが、どう違うのでしょうか。それが分かったとき、第1の目標を達成したことになります。  
テキストを読み進めるに当たって、受講生の皆さんには分担して報告してもらいます。要領よく報告することは、なかなか難しいものです。まず自分が深く理解し、ポイントをまとめ、聞き手の立場に立って分かりやすく説明して下さい。その活動を通じて、第2の目標も達成できるでしょう。  
なお時間の制約があるため、テキストの全てに触ることは難しいと思います。そこで適当に話題をピックアップしながら進める予定です。一方で必要に応じて別の資料を紹介したいと思います。また授業時の活動を重視しますし、受講生の皆さんを積極的に参加してもらえるよう期待します。以下の項目を中心に進めます。  
①オリエンテーション  
②社会  
③世間  
④組織  
⑤規範  
⑥ジェンダー  
⑦偏見  
⑧感情  
⑨ノン・バーバル・コミュニケーション  
⑩集団  
【評価方法】 | ①レポート  
②平常点
【授業科目名】文献研究
【担当者】神田信彦

【開講期】1年後期

【授業目標】
教育・臨床心理学を扱った文献を輪読し、理解を深めると同時に心理学的なもの見方を養う。

【テキスト・参考書】
未定（後日掲示する）。

授業計画

各回ごとに予め決められた発表担当者が、担当部分についての要約を作成した上で発表を行う。それに基づいて各自が意見や反論を行い。この作業を通じてテーマへの理解を深めるとともに、考える力を養って行く。
また、各回とも誰もが必ず自発的に意見を表明することを期待する。

【評価方法】
平常点による
授業科目名：文献研究
【担当者】倉澤寿之
【開講期】1年後期
【授業目標】
対人心理学に関する最新の研究成果を概観しながら、専門の文献を読む力と、研究を批判的に考察する力を養う。

【テキスト・参考書】
（テキスト）松井豊（編）「対人心理学の最前線」サイエンス社

授業計画
受講生はテキストの中の1章をそれぞれ担当し、担当者は担当部分について予め読み、必要なことを調べ、発表する。発表する際には各自、概要のメモ（レジュメ）を作り、配布する。発表に続いて全員で発表内容に対する質疑応答、討論をおこなう。

章立ては次の通り。
1. 恋をする 2. 友人とかかわる
3. 親しくなる 4. 愛着を感じる
5. 自分の話をする 6. 恥じらう
7. 個性を示す 8. 電話をかける
9. 人の印象をもつ 10. 血液型から人をみる
11. 障害者と接する 12. 「信念」に従う
13. 人を思いやる 14. 人と争う
15. 人に影響を与える 16. ユーモアをもつ
17. 剛毅を求める 18. 母親らしくなる
19. 対人関係の病い 20. 夢を理解する

【評価方法】
発表の良否、討論への参加度を考慮して評価する。
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>文献研究</th>
<th>担当者</th>
<th>林 潔</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>1年後期</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

【授業目標】
心理学関係の文献に親しむことによって、この領域の理解を深める。

【テキスト・参考書】
中西信男, 他 「ストレス克服のためのカウンセリング」 有斐閣

授業計画

1. ストレスとは
2. ストレスと性格
3. ストレス反応をとらえる
4. ストレス対処法
5. 心の健康について

【評価方法】
平常点、レポート
【授業科目名】文献研究
【担当者】八木孝彦

【開講期】1年後期

【授業目標】
この本は人類学者の書いた「顔」の本である。心理学的「顔」研究の中心テーマは「表情」であるが、その基礎として「生物学的に顔とはにか？」「どこからどこまでが顔？」などなど知識の底辺を広げておきたい。

【テキスト・参考書】
香原志勢「顔の本」中公文庫

授業計画

Ⅰなぜ顔が気になるか
Ⅱ顔のたどった道
Ⅲ顔の部分
Ⅳ表情の仕組みを探る
Ⅴ見られるものとしての顔
Ⅵ顔と心
Ⅶ日本人の顔と表情
Ⅷ顔を装う
Ⅸ顔に託すもの

以上はテキストの目次である。これを順番に読読しながら、若干の解説を加えながら進行する。また顔に関する心理学的発展をいくつか紹介するので、各自が興味を持ったテーマについて調べて、報告・議論するスタイルでおこなう。

【評価方法】
授業中に報告するリポート
【授業科目名】 心理統計Ⅰ

【担当者】 萩野七重

【開講期】 1年前期

【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。
記述統計学の習得。

【テキスト・参考書】 テキストとして下記のものを用いる。
「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 （サイエンス社）
6章まで、7章以降は心理統計Ⅱで使われる。

授業計画

1章 統計法と測定値

2章 度数分布と統計図表

3章 中心傾向の測度

4章 得点の散布度

5章 正規分布と相対的位置

6章 直線相関と直線回帰

授業では電卓を用いる。機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに指定された
機種に相当するものを持っている場合は購入しないとも良い。電卓は心理学演習等、
他の授業でも使われる。

【評価方法】 中間テストと定期試験の結果で評価する。電卓の持ち込みは可。
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>心理統計Ⅱ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>担当者</td>
<td>荻野七重</td>
</tr>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>1年後期</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【授業目標】 心理学の実験や調査によって得られるデータは、母集団から得られる標本であるという認識を確立させ、得られたデータから結論を導くための統計的手法（推測統計学）を習得させる。

【テキスト・参考書】 テキストとして、心理統計Ⅰで用いたものを引き続き使用する。
「心理と教育のための統計法」 山内光哉 （サイエンス社）
7章から

授業計画

7章 母集団と標本
8章 統計的仮説の検定と区間推定 理論と用語
9章 2つの平均の差の検定と区間推定
10章 分散分析入門 1要因の場合
11章 より複雑な分散分析 要因計画
12章 カイ2乗検定
13章 順位による統計法
14章 ピアソンの $r$ の検定と種々な相関係数

12章までを重視して授業を行う。従って13章及び14章は授業の様子により、省略する事もある。

【評価方法】 中間テスト（複数回）と定期試験とを行う。教科書及び電卓の持ち込み可。
授業科目名  心理統計Ⅱ

【授業目標】
心理学の実験や調査で使われる基礎的な検定について、その考え方と、用い方についての簡単な知識と、計算方法や統計表の使い方が確実に獲得できるよう、毎回テストを実施して忘れないようにする。計算方法を記憶する必要はないので、方法を忘れても参照すべき箇所を的確に探し出せるようにすることを目標とする。

【テキスト・参考書】
心理・教育のための統計法  山内 光哉著 サイエンス社

授業計画

1.  この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について話し、前期の復習として、独立変数－依存変数、質的変数－量的変数、正規分布、標準偏誤と不偏標準偏誤、統計の記号統計計算機の使い方などについて確認する。

2.  7章  母集団と標本  母集団とは何か、標本抽出の意味と方法、母集団と標本の統計量標準誤差－－抽出された標本は毎回誤差がでること、誤差は特定の分布をすること

3.  8章  統計的仮説の検定と区間推定  統計的仮説、仮説による検定、統計的判断の基準、検定の方向性  母分散が変わっている場合の仮説検定  母分散が変わらない場合の仮説検定、自由度とは何か  平均値の区間推定－－母集団の平均値はどれくらいか

4.  9章  2つの平均値の差の検定と区間推定  独立と考えられる2つの標本の平均値の差の検定と区間推定  関連している2つの標本の平均値の差の検定と区間推定

5.  10章  分散分析入門－－－1要因の場合  分散分析における仮定  2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が同じ場合）  2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が異なる場合）

6.  11章  より複雑な分散分析－－要因計画  要因が2つ以上ある場合と要因計画、要因の相互作用と結果の解釈

7.  12章  カイ 2乘検定  カイ2乗を用いたさまざまな検定  独立性の検定－－生まれ順は政治的態度と関係があるか  比率の等差性の検定－－2つの集団の年齢分布は等しいか

【評価方法】
毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。教科書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。
【授業科目名】情報処理Ⅰ
【担当者】倉澤寿之
【開講期】1年後期

【授業目標】
今日、コンピュータは私たちの生活に浸透し、読み書きがキーボードやディスプレイを通じた形でなされる機会が多くなると予想される。この授業では文書作成の実習を通して、コンピュータに親しみ、コンピュータとの基礎的な対話力を養うことを目的とする。

【テキスト・参考書】
特に指定しない。

<table>
<thead>
<tr>
<th>授業計画</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1．ワープロ・パソコンを使う前に</td>
</tr>
<tr>
<td>キーボード、フロッピーディスクとフォーマット</td>
</tr>
<tr>
<td>2．かな漢字変換</td>
</tr>
<tr>
<td>3．ファイルの保存と読み出し</td>
</tr>
<tr>
<td>ＯＳとファイルシステム</td>
</tr>
<tr>
<td>4．編集</td>
</tr>
<tr>
<td>移動、削除、コピー、挿入</td>
</tr>
<tr>
<td>5．印刷</td>
</tr>
<tr>
<td>6．文書の体裁</td>
</tr>
<tr>
<td>アンダーライン、縦掛け、強調、文字サイズなど</td>
</tr>
<tr>
<td>7．書式設定</td>
</tr>
<tr>
<td>8．野線の活用</td>
</tr>
<tr>
<td>9．外字作成</td>
</tr>
<tr>
<td>10．アウトラインプロセッシングの考え方</td>
</tr>
<tr>
<td>手書き文書とワープロ文書の違い</td>
</tr>
<tr>
<td>アウトラインプロセッシングのための道具</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【評価方法】
実技試験をおこなう。
【授業科目名】 情報処理Ⅰ
【担当者】 中西 裕

【開講期】 1年後期

【授業目標】
パーソナルコンピュータ上のワープロソフトを使用した実習を通じて、
情報処理の基礎的認識と技能を獲得し、コンピュータによる表現の可能性を考察する。

【テキスト】
『情報処理演習 -- 例題で親しむワープロ・文計算・プログラミング -- 』
（中西裕 他著、樹村房）

授業計画

1. ガイダンス
コンピュータと社会・コンピュータ技能の意味

2. ワープロ実習
2-1 基礎編
機器の名称と役割
タイピング
かな漢字変換
入力練習
文章の編集（削除・挿入・移動・置換・文字サイズ・セタリング・右寄せ等）

2-2 実践編
基本的な文書作成（レイアウト設定・文書書式の知識・ブロック移動・均等割付）
罫線（作表とさまざまな罫線機能）
ビジュアルな文書作成（図形描画・グラフィックスの貼り込み）
段組みとインデントのある文書（段組・インデント）

2-3 応用編
自由課題（内容と表現の関係）

【評価方法】
課題の提出状況、実技試験、出席を総合的に評価する。
情報社会と言われる今日、オフィスでも家庭でも、基本的な情報処理能力が要求されている。本講では、その中でも、ワードプロセッサによる文書処理の方法を学び、これが文書処理の基本的な道具となっていることを理解する。

授業の中で指示する。

授業計画

ワードプロセッサの基本的な利用法を身に付け、身近な文書処理への活用を実感できるような実習を行なっていく。はや次のような手順で進める。

1. 現代の生活の中で情報処理について
2. 文書処理とワードプロセッサ
3. ワードプロセッサの基本的な機能
4. 基本的な文書の作成
5. 様々なレイアウトの方法
6. ビジネス文書の作成
7. 文書作成（作文）におけるワードプロセッサ活用の利点について
8. DTPへの展望

評価方法

毎時間の提出物によって評価する。
一般教育科目（2年）
外国語科目（2年）
【授業科目名】 人間
【担当者】 石原・北・東・平賀

【開講期】 2年前期・2年後期

【授業目標】
「日本人と米」のテーマで4人の教員が稲の栽培や米をめぐる生活、現代の米問題等についてそれぞれ専門の立場から講義する

【テキスト・参考書】

| テキスト | 使用せず |
| 参考書 | 担当教員の授業時間の中で指示します |

授業計画

過去数十年の間に日本人的食生活は大きく変化したが、それでもなお米飯中心の生活は変わっていない。稲・米・米飯にまつわる行事や伝承にも米に依存して来た日本人の生活とそれへの愛着や苦悩が認められる。この授業では稲の栽培や米をめぐる生活について4名の教員が歴史、経済、民俗、伝承、栄養など、いろいろな面から講義し、人間とその生活を考察する。

1、イネの栽培と日本の米　担当 石原 邦
(1)イネの栽培(スライド使用)　(2)日本のイネの栽培の変遷
(3)世界における米の生産と将来の日本の米

2、主食としての米　担当 北 倫子
(1)米の栄養と日本人の食生活　(2)米はいつ頃から日本人の主食となったか
(3)日本人の食生活と健康問題

3、コメノ民俗と歴史-南島伝承を手がかりに　担当 東 喜望
(1)柳田国男の壮大なる仮説-海の道 (2)穀物信仰の諸問題 (3)穀物と年中行事
(4)穀物起源と伝説 (5)久米島の調査から (6)中国の調査から
(7)稲作の伝来と渡来人

米作りと人々の生活史をたどりながら現在の米問題を考える　担当 平賀 明彦
(1)産業としての農業の特性　(2)日本人とコメの歴史 (3)近代の稲作と米飯市場
(4)食料管理の歴史-食管法の成立、変改とその役割　(5)現代のコメ問題

【評価方法】
各担当教員が授業時間のなかで指示します
授業科目名：英語ⅡＡ
担当者：後藤 玲子
開講期：2年前期・2年後期

授業目標
アメリカの３大ネットワークの１つであるＡＢＣ放送のニュース番組“World News Tonight”から編集されたビデオとテープとテキストを使って、テレビの視覚情報と最大限に活用しながら、音声情報の理解力の向上を図り、さらにそのNews storyを文字通り確認していくことで、語らいを豊かにし、内容についての理解を深め、広げていくことで、現代社会を見つめる確かな目と判断力を養う。

テキスト・参考書
T.V. News from the U.S.A. [4]（テレビニュースで学ぶ英語[4]）
Kathy Yamane・山根 繁 1993年、金星堂 1500円。
Pop song Listening, Kim R. Kanel 1995年、成美堂 800円

授業計画

第一回目　Introduction
ニュース「時事英語」とは
テレビニュース英語の特徴
聴解力向上のために

それ以降 毎回テキストを１ユニットずつ学習していく。

Unit 1: Bargain Hunters in Japan
" 2: Movie Ratings and the Oscars
" 3: Low Calorie Diets

" 14: The Next Arthur Ashe
" 15: Remembrance of Martin Luther King

また、relaxationと聴解力向上のために、毎時間始め、popular musicを１曲ずつ聴いていく。

評価方法
平常点と試験
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>英語ⅡA</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>担当者</td>
<td>ハベル 清子</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【開講期】 2年前期・2年後期

【授業目標】

【テキスト・参考書】
*Figure It Out: Exercises for Listening Comprehension*
著者: James M. Vardaman, 出版者: 松柏社

<table>
<thead>
<tr>
<th>授業計画</th>
</tr>
</thead>
</table>

毎週クラス時間を2割し、最初の半分はテキストとテープを使用し基礎的なリスニングの練習、残りの半分は毎週か隔週が出すタスク（作業）——これはいろいろなビックについての考えを英語で述べる——をクラスで口頭発表する。

【評価方法】
リスニングは隔週ごとの小テスト、コミュニケーション作業はクラス内発表の質により評価する。
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>英語ⅠA</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>担当者</td>
<td>藤田久美子</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 開講期   | 2年前期・2年後期 |

授業目標
このクラスでは、英語のニュースをビデオで見ながら、授業を進めていく。
テキストで取り上げられているニュースの原稿を、予め、家でよく読んでくることを
習慣づけ、内容を把握した上で、クラスで、そのニュースを映像で見る事になるが、
こういう事を通して、リーディングとリスニングの実力を上げてほしい。
又、これをきっかけにして、ニュースで用いられる表現に慣れて欲しい。さらに、
それぞれのニュースを、深い関心を持って見る態度を、養ってほしいと思う。

テキスト・参考書
1) "T.V. News From The U.S.A. (4)"
   (Kinsuido)
2) "Short Listening For Travel"
   (Seibido)

授業計画
1年を通して、T.V.のニュース番組をビデオで見る。目と耳の両方を使って、
ニュースの英語に、少しでも慣れていきたいと思う。
テキストで扱われているニュースは、どれも比較的最近のもので、十分興味を持ち、
て取り組めるものだと思うので、家でよく調べて、読んできてほしい。
クラスでは、ビデオを見、一緒に問題をやり、テーマについて話し合って
いきたい。皆さん方が、書いてあることを、どの程度理解しているか確かめるために、
英語で質問するので、そのための準備をしてきてほしい。
又、副教材として、リスニングのテキストを使う。15分から20分程度を使い、
リスニング、及び、リスニング・ディクテーション（書き取り）を練習したい。

評価方法
出席状態、平常の小テストの点数、そして授業態度を、それぞれ打たい同じ
位の比重で考えて、評価の基準とする。特に、出席は極めて大事である。
<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>授業科目名</td>
<td>英語ⅡA</td>
</tr>
<tr>
<td>担当者</td>
<td>森田 眞澄</td>
</tr>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>2年前期・2年後期</td>
</tr>
<tr>
<td>授業目標</td>
<td>アメリカのテレビ・ニュース（ABC放送）のビデオを併用し、目も楽しませながら、英語のリスニング能力、読解力を伸ばして頂きたいと思います。</td>
</tr>
<tr>
<td>授業計画</td>
<td>受講者は、授業に出る前にテキストのNews Storyの部分を必ず読んでおく事が前提のクラスです。1回の授業で1UNITをカバーします。</td>
</tr>
<tr>
<td>評価方法</td>
<td>（1）原則として毎週、授業中に小テストを行います。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>（2）授業への参加度（質問、発言の有無）を、授業中にチェックします。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>（Class Participation---CP）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>以上の二点で評価します。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>評価の内訳は（1）---80% （2）---20%</td>
</tr>
<tr>
<td>【授業科目名】</td>
<td>英語ⅡB</td>
</tr>
<tr>
<td>----------------</td>
<td>--------</td>
</tr>
<tr>
<td>【担当者】</td>
<td>清野 茂子</td>
</tr>
<tr>
<td>【開講期】</td>
<td>2年前期・2年後期</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【授業目標】
英語の基礎的な知識をもとに、現在扱われている諸問題に対して自分の意見をもって、英語で自由に表現する力を養うことにより、英語力の向上をはかりたい。

【テキスト・参考書】
未定

授業計画

【評価方法】
【授業科目名】 英語ⅡB

【担当者】 後藤 玲子

【開講期】 2年前期・2年後期

【授業目標】
英米文学の中から珠玉の短編小説8編が収めてあるテキストを使って、ていねいに英文を読みながら、人間の真実の瞬間における様々な愛の形について考えていく。

【テキスト・参考書】
Aspects of Love （愛の諸相—鏡像から表現へ）
Maureen Lamarche・野谷啓二、1995年、朝日出版社、1700円

授業計画

前・後期それぞれ4編ずつディスカッションをしながら読んでいく。収められた作品は以下の通り。
- "The Story of an Hour" by Kate Chopin
- "A Telephone Call" by Dorothy Parker
- "Lispeth" by Rudyard Kipling
- "Sweetheart Sweetheart Sweetheart" by William Saroyan
- "Breakfast" by John Steinbeck
- "Up in Michigan" by Ernest Hemingway
- "Roman Fever (1)" by Edith Wharton
- "（2）"

また、文学作品から映画化されたものの中から、前・後期1本ずつ映画も見てみたい。
- East of Eden （『エデンの東』）、1955年、原作 John Steinbeck、監督 Elia Kazan
- Age of Innocence （『無垢の時代』）、1993年、原作 Edith Wharton、監督 Martin Scosese

授業計画は予定しているが、必要があれば変更も可能。

【評価方法】
平常点とレポート

-83-
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>英語II B-1</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>【開講期】</td>
<td>2年前期・2年後期</td>
</tr>
<tr>
<td>【授業目標】</td>
<td>英語を聴く、なるべく早く、できるだけ多くの情報を得る、聴き取りを身につけることを目指す。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【テキスト・参考書】
開講時に指示します。

授業計画
20世紀最大の思想家たるフライアについて、英語のテキストを読みながら学んでいきます。
単にその生涯をふりかえった後、他の思想家との影響関係等、今世紀その思想の脈絡における彼の位置を確認します。
次いで、彼が打ち立てた精神分析理論について知識を深めてゆきます。基本的な概念を整理し、それにどのように文学等他の文脈で具体的に用いられているかについて、グループごとに調査し、レポートを書いて発表してもらいます。また、討論の場を設け、各人が自身につけた知識と実践の場で生かすことができるかを考えます。
授業では、絶えず積極的に意見を発表することが求められます。

【評価方法】
授業時のレポートに重点を加えて評価します。
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>英語ⅡB</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>担当者</td>
<td>森田 眞澄</td>
</tr>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>2年前期・2年後期</td>
</tr>
</tbody>
</table>

授業目標
ビデオ・ムービーを併用し、教科書（映画のシナリオ）を読むだけではない、コミュニケーションを主眼に置いた授業を行います。映画を原語で味わう楽しさ、外国語を理解する喜びを知って頂きたいと思います。

テキスト・参考書
"Butch Cassidy and the Sundance Kid" 「明日に向かって撃て」
（ニューウェルトインターショナル発行） 2000円

授業計画
受講者は授業に出る前にテキストの宿題の部分を必ず読んでおくことが前提のクラスです。前期、後期を通じて "Butch Cassidy and the Sundance Kid" 全編をカバーする予定です。時間に余裕があれば、後期の後半に "Sound of Music" のハイライトシーンを観たいと思います。

評価方法
1. 原則として毎週授業中に小テストを行います。
2. 授業への参加度（質問、発言の有無）を、毎授業中にチェックします。（Class Participation—CP）
3. 映画及び授業に対する感想を、日本語でレポート用紙に1枚以上書いて頂きます。

以上の三点で評価します。
評価の内訳は（1）---80% （2）---20% （3）---期限までに提出すればOKです。
授業科目名：独語II

開講期：2年前期・2年後期

授業目標

1年次に学んだ知識を整理し、活用しながら、読んで書く力を養うことを目標にする。

テキスト・参考書

1. 中級ドイツ語へのステップ — 閲覧と文法説明 — (オニ吉井)
2. 小説作文 — 初級から中級へ — (オニ吉井)

授業計画

先ず、1年次にやりのこした文法の説明を行ない、そのあとで、テキストの講読に移るが、授業時間の前半を使って、テキストを読み、後半では、文法項目べつになった作文を扱いながら、日本人とドイツ人の発想の基本的な相違点について考えていく予定である。

評価方法

授業のなかで提出してもらうものと定期試験の成績とを総合して判定する予定である。
【授業科目名】仏語Ⅱ
【担当者】村山知恵

【開講期】2年前期・2年後期

【授業目標】「星の王子さま」を増えず読み解き、フランス語の理解とこの童話の理解を深める。

【テキスト・参考書】 "Le petit Prince" Antoine de Saint-Exupéry
Collection folio junior

授業計画

1) 「星の王子さま」の作家の背景、歴史的位置を講義
2) どちらと最初から最後まで読み解き、一日に5,6人づつ解きをされる。
3) ビデオ、フィルムによる見聞とその後の授業の時ににする

【評価方法】 "Le petit Prince" を一年間読む、自分の感じたことこの童話の意義をレポートにまとめ提出する。
専門教育科目（2年）
【授業科目名】 感覚と知覚
【担当者】 金子 尚弘

【開講期】 2年前期

【授業目標】 感覚器官の働きに関する知識を深め、視覚刺激や聴覚刺激がどのように取り込まれるのか、取り込まれた刺激はどのように知覚されるのかといった事柄を理解し説明できるようになることを目標とする。具体的には3D図版や映画、遊園地の擬似宇宙旅行の仕組みの説明や、「なぜ、地球近くの月が大きく見えることがあるのか」といった疑問に答えられるようにする。

【テキスト・参考書】
テキストは使用しないが、授業中に参考となる書籍や、遊園地、催し等の情報を提供する。

授業計画

1、知覚とは何か？ スライドとビデオ「感覚と知覚」
   知覚のさまざまな例を、スライドとビデオで学ぶ。
2、聴覚、見覚、触覚、味覚、嗅覚。ビデオ「INFINITE ESCHER」
   私たちは、実際にあるものをその通り知覚しているわけではない。
3、感覚器官と感覚刺激の働き。ビデオ「感覚器官の構造と働き」
   我々にとって最も重要な感覚である視覚について理解する。
4、色の知覚、ビデオ「Colour」
   色の光学的性質や弁別や錯覚など、色の知覚について学ぶ。
5、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、体制感覚、時間感覚
   聴覚以外の感覚器と、音、味、匂いの性質やその知覚について学ぶ。
6、錯覚の種類とそのメカニズム。ビデオ「視覚的錯覚と知覚過程」
   錯覚の現象だけを取り上げて、その原因を分類し知覚について考える。
7、知覚理論、ギブソンの考え方とニューロックの考え方。ビデオ「万全の着陸と知覚」
   さて、知覚とはどのようなことなのかを理論的にまとめてみる。
8、知覚情報処理。ビデオ「キューキーとスキーマ」
   我々は、どのようにして外界を知覚しているのだろうか。
9、知覚メカニズムのシュミレーション。ビデオ「知覚プログラム：ポパイ」
   私たちと同じような知覚メカニズムを、コンピュータがまねできるだろうか。
10、音の知覚、音源定位と聴空間の知覚
    音の知覚や、音源定位を実際に体験する。
11、味と匂いの知覚、時間の知覚
    味、匂い、時間の知覚を実際に体験する。
12、精神物理学的測定法、官能検査、域値、感覚尺度
    知覚の測定方法や、実際生活での応用分野について学ぶ。

その他、ビデオ「ビジュアルイリュージョン」「開眼手術-初めて見る世界-」

【評価方法】
学期末試験期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。
【授業科目名】 記憶と思考
【担当者】 荻野七重

【開講期】 2年前期

【授業目標】 思考に関する多くの実験的研究によって示された事実や理論を示す。特にことば、
概念の獲得と発達的変化の過程を見ていく。
記憶については、記録する材料、時間的要因、個人の持っている知識等がどのように記憶
の3つの過程、記名、保持、想起（忘却）において作用するかを見ていく。

【テキスト・参考書】 テキストとして下記のものを用いる。なおこのテキストの前半部分は条件
づけや運動学習について書かれている。授業ではその後半部分を用いる。
「学習心理学」行動と認知 山内・森木編著 （サイエンス社）

<table>
<thead>
<tr>
<th>授 業 計 画</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1．問題解決と推理</td>
</tr>
<tr>
<td>問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ</td>
</tr>
<tr>
<td>認知の発達と推理（J．P．ビアジェ）</td>
</tr>
<tr>
<td>演繊的推理と機能的推理</td>
</tr>
<tr>
<td>創造性（集中的思考と分散的思考）</td>
</tr>
<tr>
<td>2．概念過程と言語の獲得</td>
</tr>
<tr>
<td>概念の構造と概念学習</td>
</tr>
<tr>
<td>言語の獲得と思考</td>
</tr>
<tr>
<td>3．記憶と忘却</td>
</tr>
<tr>
<td>記憶とは何か</td>
</tr>
<tr>
<td>記憶の研究法（記録材料と測定法）</td>
</tr>
<tr>
<td>短期記憶と長期記憶</td>
</tr>
<tr>
<td>忘却</td>
</tr>
<tr>
<td>記憶術</td>
</tr>
<tr>
<td>4．有意義材料の記憶</td>
</tr>
<tr>
<td>エピソード記憶と意味記憶</td>
</tr>
<tr>
<td>記憶の変容</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【評価方法】 定期試験にテストを行う。
【授業科目名】 動機づけと感情

【担当者】八木孝彦

【開講期】 2年前期

【授業目標】
動機づけと感情に関する心理学の基礎概念について学習する。基礎的な概念については繰り返して説明するので、正確に理解し、それらを使用できるように学習すること。

【テキスト・参考書】
テキストは指定しないが参考書は随時紹介する

授業計画

<table>
<thead>
<tr>
<th>I 動機づけのモデル</th>
<th>VI 感情心理学の歴史</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1) 心理装置のモデル</td>
<td>(1) 感情の概念</td>
</tr>
<tr>
<td>(2) 心理機能の正常と異常</td>
<td>(2) 感情の分類</td>
</tr>
<tr>
<td>(3) 動機づけ概念の定義</td>
<td>(3) 基本感情とは</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>II 動機づけ概念の展開</th>
<th>VIII 感情の機能と構造</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1) 本能心理学と動機づけ</td>
<td>(1) 感情の機能</td>
</tr>
<tr>
<td>(2) 人格心理学と動機づけ</td>
<td>(2) 感情の構造</td>
</tr>
<tr>
<td>(3) 学習心理学と動機づけ</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>III 動機づけ理論（1）</th>
<th>IX 感情のコミュニケーション</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1) ホメオスターシスモデル</td>
<td>(1) 感情と表情</td>
</tr>
<tr>
<td>(2) 摂食行動</td>
<td>(2) 声と感情</td>
</tr>
<tr>
<td>(3) 性行動</td>
<td>(3) 動作と感情</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>IV 動機づけ理論（2）</th>
<th>X 感情</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1) 誘因モデル</td>
<td>(1) 怒りと恐れ</td>
</tr>
<tr>
<td>(2) 認知的モデル</td>
<td>(2) 不安と絶望</td>
</tr>
<tr>
<td>(3) 活動一動機づけモデル</td>
<td>(3) 怒り</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>V 動機づけと脳</th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1) 視床下部</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(2) 大脳辺緣系</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

【評価方法】
筆記試験
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>英書講読</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>担当者</td>
<td>林 潔</td>
</tr>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>2年後期</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【授業目標】
心理学の英文になれること。

【テキスト・参考書】
コピーを用意する。

授業計画

1. 正常と異常
   (1) 異常行動の定義
   (2) 異常行動への取り組みの歴史
2. 知能
   (1) 知能とは何か
   (2) 知能の一般的要因
   (3) 知能の測定
   (4) IQについて

【評価方法】
平常点
授業計画

1. スプレッドシート入門
   「スプレッドシート」とは
   基本用語と基本的なキー操作
2. 数値データ処理
   数値データ処理の基本（データの入力と編集、ワークシートの保存と呼び出し、
   再計算、セル番地、表の整形、範囲指定、セルの形式、罫線の活用）
   数値データ処理の応用（t検定）
3. プリントアウト
   プリンタドライバの設定、印刷の詳細設定
4. グラフ表示
   グラフの基本（グラフ表示の方法、グラフの種類、グラフの詳細、グラフ印刷）
   グラフの応用
5. 関数の活用
   基礎的な関数（算術関数、統計関数）
   関数の応用（相関係数の算出）
6. データベースとしてのスプレッドシート
   データベースとは
   簡単なデータベース作成（住所録）
   ソーティング（並べ替え）
   抽出
   データベース用語の基礎知識

評価方法
実技試験をおこなう。
授業科目名：情報処理II

【授業目標】
パーソナルコンピュータ上のスプレッドシートを使用した実習を通して、数値情報処理の基礎的認識と技能を獲得し、生活や研究の場面でのコンピュータ利用の可能性を考察する。

【テキスト】
『情報処理演習　― 例題で親しむワープロ・表計算・プログラミング ―』
(中西裕 他著、樹村房)

授業計画

1. ガイダンス
コンピュータの役割と可能性
2. 表計算実習
2-1 基礎編
数値・式・文字列の入力（四則計算・関数）
ワークシートの作成（式の複写・相対セル番地・絶対セル番地・表示形式・罫線・文字位置・印刷）
2-2 実践編
グラフの作成（棒グラフ・積み重ねグラフ・円グラフ・折れ線グラフ）
シミュレーション（データの変更と再計算）
データベース機能（ソート・検索）
2-3 応用編
統計処理（相関係数の計算・相関図の作成・t検定）
ワークシートの設計

【評価方法】
課題の提出状況、実技試験、出席を総合的に評価する。
授業科目名：心理学研究演習・卒業研究

担当者：専任教員、他

開講期：2年前期・2年後期

授業目標
短大2年間の知識の学習のまとめとして、卒業研究をまとめる。
報告の作成と、発表会を行い、成果について多方面からの検討を受ける機会とする。

テキスト・参考書
必要に応じて提示する。

授業計画

心理学研究演習
心理学研究演習は2年次後期の卒業研究につながる科目である。指導担当教員があらかじめ提出した演習のテーマの1つを選び、その指導教員の指導を受けて、原則として共同で研究をすすめて行うものである。
実験、調査、生理心理的測定テスト、文献研究など研究目的に応じたものとなる。
なお、提出した1つのテーマを希望する人が多い場合には他のテーマに変わることもある。☆印のテーマに関しては、担当者のスーパーバイズの下、そのテーマを専門とする助手が実際の指導を担当します。

卒業研究
心理学演習I・IIおよび心理学研究演習までに学習したものを基礎にして共同研究をおこなう。担当指導教員・テーマは原則として心理学研究演習と同じで、その研究を発展させ、統計処理等を含め研究レポートの作成にあたる。
研究の結果を1月中旬発表会で発表する。

評価方法
平常点・レポート
統一テーマ " 日常記憶研究"

心理学研究演習では、記憶に関する簡単な実験をグループに別れていろいろと
行ってみたいと思います。これは条件を統制した実験室的なものです。これらの実
験を通して、記憶に関する基礎的な知識と実験の手法に習熟してもらうのが目的で
す。

卒業研究では、日常記憶研究として、自然実験といわれる方法（やはり実験的な
手法ではないが、より現実生活に近いものとなるように工夫して実験を行うもの）
で実験的研究を行ってみたいと思います。そのためには次の著書が、参考になると
思います。各グループは、この3章、7章のいずれかを中心に文献研究をし、グ
ループ毎に具体的な実験計画をたて、実験を行っていくきます。

G. コーエン著 「日常記憶の心理学」 サイエンス社

始めからテーマ別にグループを作るよりも、卒業研究に入ってからテーマ別のグ
ループを作る方が良いと思いますが、一応下記のテーマのいずれか一つを選んでく
ださい。 卒業研究のテーマについては柔軟に考えていきたいと思っています。

<table>
<thead>
<tr>
<th>テーマ 1</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>記憶 1. 場所、もの、出来事の記憶 （3章）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>テーマ 2</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>記憶 2. 会話、散文、物語の記憶 （7章）</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### テーマ 1
実験行動分析（動物の行動分析）

行動分析では行動の変化を、弁別刺激－自発的反応－強化子（報酬など）の関係で説明します。実験的に弁別刺激や強化子などの環境を変えることによって、反応が変化します。この関係を調べることによって私たちは行動についてより深い理解が得られるでしょう。被験体はラットを用います。いろいろな強化スケジュールのもとでラットの反応は変わります。ラットの行動がどのような条件下で、どのように変わるのかを観察し、分析することによってラットの行動を理解することが出来るでしょう。

### テーマ 2
応用行動分析１（ヒトの行動分析）

ヒトの行動は、弁別刺激－自発的反応－強化の三項が常に同じ時に生じることによって条件づけられ維持されています。私達の行動は、人それぞれで個性的であり、その違いが人の生活を変化に富んだ楽しいものにしているのですが、実は一寸した環境と強化の違いによって生じた結果なのです。日常生活の一寸した癖や、他人に対する行動を分析、あるいは実験をして、行動がどのように維持されているのか、それはどのような操作で変える（修正する）ことができるのかを考えてみます。

### テーマ 3
応用行動分析２（自閉症児療育の行動分析）

自閉症児とは生後３０カ月未満に、他人に対する反応が欠如し、言語発達が遅れ、状況に対する奇異な反応が見られた子供のことです。コロロエＳセンターには100人以上の自閉症児が療育のため通っています。この療育施設で行われている行動療法的訓練を観察し、トレーナーから自閉症児は何を学習し、行動がどの様に変化していくのかを色々な側面から観察し分析していきます。また、今までの施設に通所した自閉症児の初期の行動特徴と行動療法開始後の特徴をまとめ、行動のどの側面が変わっているのかを考えていきます。
【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究  
【担当者】神田 信彦・杉山 成

【授業計画】

テーマ1 不安の発達的変化に関する研究

人は様々な不安を持っているが、その内容や程度には個人差があることは言うまでもない。では発達段階によるそれがの差異は見られるのでであろうか。今回は児童期から青年期までの人々を対象にして継続的に各時期における不安の対象や内容の差異があるのか、あるとすればどのようなことか、どのような要因が関連しているかを検討する。

テーマ2 青少年の生死観に関する調査研究

“いじめ”を苦にするなどして死に急ぐ子どもたちがおり、それが社会的問題の一つとして指摘されている。ここでは子どもたちにとって“生きる”ことと“死ぬ”ことがどのような意味を持つのか、子どもたちの自己イメージや周囲との関係の認識などを関連させて検討する。

☆ テーマ3 児童期から青年期にかけての未来展望

未来展望（future time perspective）とは、個人的目標や計画、または未来に対する感情・態度、志向性等、個人が未来に対して抱くさまざまな表象・態度である。本研究では、児童期から青年期にかけての未来展望の発達を、内容的側面（目標や計画の内容）、リアルティ（想定された目標や計画の現実性）、構造的側面（たとえば複数の下位目標が1つの上位目標に向けて整合的に配置されているかどうか）といった観点から検討する。
テーマ1  噴囁のきっかけに関する研究

「この人は嘘を言っているのではないか」という疑問、あるいは時に
よっては確信を持つことがありますが。このような印象は何によって生じる
のでしょうか。これまでに表情や声の調子、体の動きや言葉の内容などが
その手掛かりとして研究されてきましたが、それらが単独で手掛かりとな
るとはあまり考えられません。むしろ、そのときの状況とその人の行動の
関わりが重要だと思われます。どんな状況でどんなことを言ったりしたり
すると嘘だと思われやすいのか、このあたりのことを実験を通して調べて
みたいと思います。

テーマ2  血液型性格判断の社会的浸透に関する研究

世の中では血液型で性格を判断することがはやっています。しかし、こ
れは科学的にはほとんど根拠の無いことだということがわかっています。
それでもなお信じている人が多いのはなぜでしょうか。信じていないにし
ても話題にのぼることが多いのはなぜでしょうか。血液型の話が私たちの
日常で果たす役割は何かという面からこの問題を捉えてみたいと思いま
す。

☆ テーマ3  社会的公正さに関する研究

「どうもA君と私の仲は不公平だ」「バイト料が不当に安い」など、日
常生活の様々な場面で“公正ではない”と感じることがあります。それで
は、公正かどうかはどのように判断されるのでしょうか。また、公正さは
人の感情や行動にどのような影響を与えるのでしょうか。対人関係や給与
の分配を題材にして研究を進めます。
### 【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究
### 【担当者】 多喜乃 亮介

### 【開講期】 2年前期・2年後期

#### 【授業計画】

<table>
<thead>
<tr>
<th>テーマ 1</th>
<th>眠気に関する研究</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>頭がすっきりと働くためには、はっきりとした目覚めが必要なようです。ところが、はっきり目覚めていたいにもかかわらず、抗し切れない眠気に襲われて困った経験は誰しも一度は経験したことがあると思います。寝不足や不規則な生活が大きな原因と考えられますが、それ以外の要因は考えられないでしょうか。はたしてどのような心身のコンディションのときに強く眠気を感じるものかを日常生活場面の中で観察・調査してみようと思います。</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>テーマ 2</th>
<th>覚醒から睡眠へ移行する時期(入眠期)に関する実験的研究</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>入眠期は普通の眠りではなく去ってしまうので自覚的に体験している人は少ないかも知れません。しかし、この時期は精神活動がまったく停止してしまうわけではなく、実際の刺激がなくても自らが刺激を作り出してい るかのように、夢見慣の体験(たとえば身体感覚の変化や聴覚や視覚体験といったもの)が生じる興味深い時期です。はたしてどの時点がこのように覚醒から睡眠へと頭のスイッチが切替わる時期なのかを、生理的な意識水準を測定できる指標(脳波や眼球運動、汗腺活動、心拍など)を測定して、心理学的な課題を用いて実験的に検討してみようと思います。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>テーマ 1</td>
<td>教育相談について</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------------------</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>教育相談の対象は高校生までの児童生徒です。教育相談の現状について資料で調べてみたいと思います。そして教育相談についての一般の人たちの意識について検討します。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>テーマ 2</th>
<th>日本の教育相談と外国の教育相談</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>高校生までを対象とする教育相談の内容、システムについて日本と外国を比べてみます。外国はアメリカ以外の国になります。</td>
</tr>
<tr>
<td>テーマ 1</td>
<td>「表情を測る」</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>-------------</td>
</tr>
</tbody>
</table>

表情を測る心理学的な方法はいくつかあります。今回はその中の代表的な方法の一つ、EkmanのFacial Action Coding Systemを、勉強します。この学習には、2 ~ 3カ月かかります。これが終わると皆さんと相談して、実際の人の表情を測ってみましょう。たとえば「デートの待ち合わせ場所ずっと待っている人の表情」「映画の中の喜びや悲しみの表情」など。

<table>
<thead>
<tr>
<th>テーマ 2</th>
<th>「顔」に関連した心理学的研究</th>
</tr>
</thead>
</table>

顔に関係していれば、どんなテーマでも結構です。「美人の顔とは？」「顔から年齢はどれほど正確に推定できるか？」「嘘を見ている時の顔とは？」その他どんなテーマでも結構ですが、心理学的に研究できるものという条件がつきます。その条件については問い合わせてください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>テーマ 3</th>
<th>「肩こり」の程度は触って測れるか？</th>
</tr>
</thead>
</table>

肩こりは気分の重いものです。あるいはつらくて痛みものでもありまです。ところで肩こりの程度は本人の主観的訴えに依存しています。もっともアンマさんやマッサージさんが「かなり楽になっていますね」と触って評価をします。素人がこれができるでしょうか？素人が他の人の肩を触って、この肩こりは「肩こり強度6！」という程度正確に診断できるのでしょうか。これをテーマにしたいと思います。
【授業科目名】 心理学研究法Ａ
【担当者】 川島 真

【開講期】 ２年前期・２年後期

【授業目標】
カウンセリングの方法や進め方、技術を事例を通して学ぶことにより、カウンセリングへの理解を深め、日常生活でのカウンセリング・マインドを身につけることを目標とする。

【テキスト・参考書】
テキスト：特に定めない。授業時に適宜プリント配布する。
参考書：福島章『青年期の心』（講談社現代新書）
野原明『日本の教育—いま家庭で学校で—』（丸善ライブラリー）

授業計画

カウンセリングはどういうことをするのか、カウンセラーの仕事とは何か、からカウンセリングの方法・進め方まで、カウンセリングの実際を概観するとともに、自己と周囲の人々をカウンセリング的に考えてみる。また、現代青年や子どもの心の問題を取り上げ、クライエントの理解を深める。
授業は資料プリントやＶＴＲ、テープなどを使用し、具体的に進める。また、一方的な講義ではなく、受講生との対話を交えながら双方向の授業としたい。

| 1 | カウンセリングとはなにか？（導入を兼ねて） |
| 2 | カウンセラーの仕事とその役割 |
| 3 | クライエントとは①青年のケース |
| 4 | 現代青年を考える |
| 5 | クライエントとは②子どものケース |
| 6 | 今この子どもを考える |
| 7 | クライエントの理解① |
| 8 | クライエントの理解② |
| 9 | カウンセリング・面接・心理療法 |
| 10 | 面接の実際 - 面接事例 1 - |
| 11 | 面接の実際 - 面接事例 1 つづき - |
| 12 | 面接の実際 - 面接事例 2 - |
| 13 | 共感的解釈と対人関係 - 日常生活にいかすカウンセリング |
| 14 | 総まとめとレポート課題の提出 |

【評価方法】
レポート試験を実施。レポート課題は第1 2 回授業時に配布し、最終授業時に提出。成績はレポート、平常点、出席状況から総合的に評価する。
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>心理学研究法A</th>
<th>担当者</th>
<th>神田信彦</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>2年前期・2年後期</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>授業目標</td>
<td>様々な実習を通じて自己表現や自己理解を深めて行く。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>テキスト・参考書</td>
<td>随時資料を配布する</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

授業計画

伊東博のニューカウンセリングの実習や構成的エンカウンターグループのエクササイズのうち比較的ソフトなものを取り上げ体験する。また、自我や自己についての理論についても触れ人間理解の方法を考えていく。

体験する実習やエクササイズの主な内容は以下の通りである
- リレーションづくりに関するもの
- 非言語的コミュニケーションに関するもの
- 自己開示に関するもの
- セルフ・アウェアネスに関するもの

評価方法

平常点による
心理療法で用いられる技法の一つである箱庭療法を実際に体験し、自身の体験を通じての箱庭療法の理解を深める。さらに、自己の内在世界との交流を通じて、心理的な自己啓発を個々が深めていくことを目標とする。

【テキスト・参考書】

授業計画

心理学の分野のうち、カウンセリングや自己啓発などを行う臨床心理学の領域があるが、そこでは様々な技法によって人間の心理的理解と共感を深めていく。その中で箱庭を使った他者および自己との交流を通して、心理療法の基本的な素養を身に付ける。さらに自己との新しい出会いを通して、内在世界の重要性や自己の新たな可能性などに触れていくことを目指してみたい。簡単なオリエンテーションを行った後、小グループに分かれ、各々一人一人箱庭を作成していく予定である。また、時間の余裕があれば、夢や童話・絵本などを使ってより内在世界的多感さを体験していければと考えている。評価は体験した箱庭のレポートによって行う。箱庭作成は1回ないし2回となる予定。

(1) オリエンテーション
(2) グループごとの箱庭作成

(1.1)

(1.2) 箱庭療法の理論と歴史
(1.3) 箱庭療法の理解の仕方（VTR）
(1.4) 事例を通じた箱庭療法の理解
(1.5) まとめ

【評価方法】
各自箱庭を作成した時点で、次の回までにレポートを提出すること。さらに最後にまとめとしてのレポートも提出すること。
【授業科目名】 心理学研究法A
【担当者】 若山 隆良

【開講期】 2年前期・2年後期

【授業目標】
描画法および描画テストを実際に体験し、イメージの象徴的解釈について関心を深めることを目的とする。

【テキスト・参考書】

授業計画

・描画法・描画テストを実際に体験することを第一の目的とする。
・心理テストとしての描画テストと、心理療法の技法としての描画法の違いについて考える。
・描画テストについては、大まかな理論的背景、教示の仕方、結果の整理法、解釈法を講義する。
・取り扱う描画法は下記の「授業の予定」にあるものを予定しているが、多少の変更はありうる。

授業の予定
1. 描画法の概説
2. パウムテスト
3. パウムテスト
4. スクイグルゲーム
5. スクイグルゲーム
6. 風景構成法
7. 風景構成法
8. 風景構成法
9. HTP
10. HTP
11. HTP
12. 予備日

【評価方法】
期末レポートにおき評価

-108-
【授業科目名】心理学研究法Ｂ（質問紙調査）
【担当者】倉澤寿之

【開講期】2年前期・2年後期

【授業目標】
質問紙調査は心理学の研究をはじめ、世論調査、マーケティングなどにも活用されている重要な研究手法である。この授業では、質問紙作成の基本的な知識・技法を学び、実際に簡単な質問紙を作成・実施する。またデータの処理方法についても、基本的な事項を習得することをめざす。

【テキスト・参考書】
（参考書）経有恒・村上英治（編）心理学研究法９質問紙調査 東京大学出版会
杉山明子（著）社会調査の基本 朝倉出版

授業計画

1. 質問紙調査とは（講義形式）
観察法・面接法などと比較した、質問紙調査実施の概略

2. 質問紙調査の基礎知識（演習形式）
- 調査方法の種類
- 質問紙の構成・体裁
- 質問文の作成法
- 質問紙法の諸問題
- サンプリング方法（層化無作為抽出法）
- データ処理方法（クロス集計・多変量解析）

3. 調査の実習（実習形式）
- 調査内容・調査計画の決定
- 質問文の作成
- 質問紙の作成
- サンプリングの実習
- 調査の実施
- 調査票の回収
- 調査票の事後処理
- データのクリーニング
- データのコンピュータへの入力
- コンピュータによる分析
- 結果の解釈

4. 調査報告書（レポート）の作成

【評価方法】
出席状況、演習での発表の良否、実習への貢献度、報告書の良否を総合して評価する。
【授業科目名】心理科学研究法B
【担当者】鈴木 典彦

【開講期】2年前期・2年後期

【授業目標】脳と心の関係にアプローチする具体例には、狭義にいう生理心理学的アプローチと精神科学的アプローチがある。前者は、生物（特に脳科学）の生理学的な変容にともなう行動変容を心理学的な方法で測定することによって「生物学的変容の実体化」を試み、後者は、心理科学的変容にともなう生態学的変容の測定を通じて心身の相関を解き明かそうとする。授業では、脳を科学するという立場から、それはどのように方法があるのか、異なる方法をとることによって心の見え方がどのように変わってくるのか、そうしたことを知り、考える力を養う。

【テキスト・参考書】テキスト：使用しない。
参考書：必要に応じて適宜紹介する。

授業計画
授業内容を分野別に掲げると、(1)精神医学、(2)神経心理学、(3)生理心理学の3部となり、授業は大まかにこの順序で進めて行く。(1)、(3)では実習を中心に行う。(2)は講義中心で行う。
①精神医学的アプローチの特徴や具体的な手法例についての講義に続いて、実験を行なう。テーマは、「精神障害の心拍数の変化」。
②左右独断脳、失語症、発達障害、アルコール依存症における認知障害などの実験例、臨床実験の紹介、視覚覚覚資料利用した神経心理学的検査の実際などを紹介する。
③生理心理学的アプローチの特徴や具体的な手法例についての講義に続いて、実験を行なう。テーマは、「脳内自己刺激行動」で、外側前野下部からの神経変容の一観察、自己刺激行動の獲得と消去の過程を実地に観察する。最後に、「脳を観る」というテーマで実験に用いた動物の脳の組織標本の作成を通じて脳の構造を観察する。

| ① オリエンテーション | 授業全体の構成、主眼点、進め方についてのガイダンス。
| ② 「精神作業時の心拍数の変化」 | 講義と実験の説明
| ③④ | 実験
| ⑤ | データ整理
| ⑥ | 討論
| ⑦ 神経心理学 | 講義
| ⑧ 生理心理学 | 講義
| ⑨ 「脳内自己刺激行動」 | 実験の説明、実験
| ⑩ | 実験
| ⑪⑫ 「脳を見る」 | 実習
| ⑬ | 実習

【評価方法】レポート

-110-
授業科目名: 心理学研究法B
【担当者】多喜乃 亮介
【開講期】 2年前期・2年後期

授業目標
脳波の測定を通して、測定手法を学ぶと同時に、心の働きの背景にある脳の活動について理解を深める。また、代表的な実験を通して、脳の認知機能を測定する場合の視点や実験的な工夫について体験的に理解する。

テキスト・参考書
テキスト: 測定方法、データ整理方法などをまとめたプリントを配布
参考書:
・大熊輝雄、『臨床脳波学』、医学書院、1983
・時実利彦・他、「新脳波入門」、南山堂、1979
・宮田洋・他、「生理心理学」、朝倉書店、1985

授業計画
前半は脳波計の操作および電極装着の練習を中心に進める。実際の操作を通して、脳波がどのような現象を記録したものであるのか、どのような注意が必要なのか、脳波以外の生体電気現象にはどのようなものがあるのか、などについて学習する。また、記録したデータ整理を通して自発脳波の特徴、意識水準と脳波の関係について学習する。
次に、実験場面を設定し、脳で考えられる働きがどのように脳波上に反映されるのかを観察する。また臨床脳波で異常脳波と呼ばれる現象がどのようなものであるのかを学習する。
最終的に、脳で生じた小さな変化を捉える記録の経験を通して、心の成立する基盤や、脳と心の関係についての若干なりとも科学的考察を加えることができるようになることを目標とする。

以下の項目に従って進める予定である。

・ガイダンス 脳の構造、脳波の発生起源、記録上の注意点
・脳波計の操作 入力部、增幅部、出力部の構造と操作
・電極の装着 国際10-20法、探査電極、基準電極、接地電極
・電極装着実習
・記録実習 閉眼安静時記録、睡眠時記録、光刺激試験
・データ整理1 波形認識、アーチファクト、周波数と振幅の測定(藤森法)
・データ整理2 周波数分析、加算平均、入眠期～睡眠時の波形、
・実験1 課題遂行時の脳波(精神作業時、音楽／騒音聴取時、など)
・実験2 事象関連波位(P-300, N-100, など)
・脳波異常 異常波形について(棘波、鈍波、徐波、群発波、など)

評価方法
電極の装着と記録をとることができることを50点
各自の記録した波形を分析し、レポートとして提出したものを50点として評価する。
【授業科目名】心理学研究法B（行動分析学）
【担当者】中丸 茂

【開講期】2年前期・2年後期

【授業目標】
行動の定義、測定、制御、予想を実際に捉えないながら、行動分析学の考え方や手法を身につけることを目的とする。また、日常生活や臨床場面、コーチングなどへの行動分析学を応用する力も養う。

【テキスト・参考書】（テキスト）講義時にプリントを配布
アルパート, P. A. 1992 はじめての応用行動分析 二瓶社
SUPER STRINGS SR21 編 1995 「あしたのジョー」心理学概論 中央公論社
その他 適時紹介

授業計画

行動分析学は、実験的分析により、行動の理解・説明・予測・制御を目的とした学問であり、その対象は、観察可能な行動である。また、その内容により、基礎研究を起こす実験行動分析、臨床応用を目的とする応用行動分析、行動主義そのものを考察する理論的行動分析に分類される。
本授業では、実験行動分析を中心として講義・演習を行い、その知識・技法を応用場面へと展開していくというステップを踏む。テーマとしては、情動行動、言語行動、認知行動、迷信行動などを予定している。

【講義・演習予定】

I. 行動分析の基礎知識 −講義形式−
・なぜ、行動を対象とするのか？
・スモール・ステップって？
・三相随伴性とは？
・強化スケジュール
・実験計画法（1事例実験デザイン）

II. 行動分析の実際（1）−演習形式−
・言語的レポート
・観察記録法など

III. 行動分析の実際（2）−演習形式−
・1事例実験デザインを中心に、実験を行う

※いきなりフル・マラソンは出来ないが、
まず、10mくらいなら走れる！！

【評価方法】
レポート
授業科目名：精神生理学

【担当者】多喜乃・亮介

【開講期】2年後期

【授業目標】
ものを見たり、聞いたり、感じたりする背景で、私たちの体にはどのように変化が生じているのか。そのような視点から心を扱った実験例を中心に学習し、心と体の関係、あるいは心と脳の関係についての理解を深める。

【参考書】
J. L. アンドレッシャ、「心理生理学」、ナカニシヤ出版、1985
J. ハセット、「精神生理学入門」、東京大学出版会、1987
宮田 洋 他、「生理心理学」、朝倉書店、1985

授業計画

この講義では基本的に人間を対象とした場合の研究方法、測定方法、実験例を中心に、心と体の関係について学習していく。まず神経系の働きの基礎と測定方法について学ぶ。次に、意識を司る脳の働き、睡眠と覚醒といった問題を取り上げ、精神活動を営む基盤としての脳の働きを理解する。また、刺激に対する生体の反応について、体の末梢に現れる自律神経機能の反応と、直接脳を測定したときの反応について学ぶ。脳の機能については動物を用いた研究成果や脳損傷例についても比較のために紹介する。また高次機能と関連した脳の働きについて、どの程度まで明らかにされてきているのかを学んでいく。

以下の項目に沿って授業を進める予定である。

1. 心と体を結ぶ神経系の働きの基礎、および測定方法
中枢神経系と末梢神経系
体性神経系と自律神経系
脳の構造と代表的な中枢機能

2. 意識を司る脳の働き
睡眠・覚醒中枢と脳波の発生
徐波睡眠、REM睡眠、生体リズム、睡眠の発生
精神活動と脳波上の変化

3. 末梢に見られる生体の反応　【自律神経系の反応】
汗腺活動の反応、心臓血管系の反応
心理的要因と自律神経系の反応
情動理論と神経系の働き（扁桃核、視床下部、報酬系を中心に）

4. 脳に見られる活動　【中枢神経系の活動：EEG, MEG, PET, MRI, fMRI】
誘発反応（体性感覚野、視覚野、聴覚野、脳幹）と事象関連電位
脳損傷例から学ぶ（失行、失認、失語、健忘、大脳半球機能差）
認知機能と脳の活動（頭頂連合野、側頭連合野、前頭連合野、海馬）
運動機能と脳の活動（運動野、補足運動野、小脳）

【評価方法】
レポートを評価対象とする。講義で取り上げたトピックスを参考に心と脳の関係を考察する。
授業科目名: 心理検査法

担当者: 稲垣 千恵

開講期: 2年前期

授業計画

心理検査のうち知能検査と性格検査に焦点をあて、現在一般的に使用されているものを紹介する。各心理検査ごとに、目的・施行方法・検査者に必要とされる施行態度・解釈・限界と問題点などについて説明を加える。その際、講師が実際に心理療法を担当した事例をあわせて紹介するつもりである。可能な範囲で、受講生にも検査者・被検査者を体験してもらいたいと思っている。

扱う予定の検査は、下記の通りである。

＜知能検査＞
WISC-R, 田中ビネー, コース立方体

＜性格検査＞
Y-G検査, エゴグラム, P-Fスタディ, ロールシャッハ, 風景構成法

評価方法: 出席状況とレポートによって評価を行う。
授業科目名：カウンセリング

担当者：林 深

開講期：2年前期

授業目標：カウンセリング概説－ロジャース理論を中心に－

テキスト・参考書：内山、髙野、田畑 『講座サイコセラピー1：カウンセリング』
日本文化科学社

指定図書：図書館

授業計画

1. 悩みよりも悩む人に焦点を置く、カウンセリング心理療法の意味について
2. カウンセリング、心理療法の流れ
3. カウンセリング、心理療法の3つの山については精神分析、実存的アプローチ
4. 実存的アプローチの一つとしての来談者中心カウンセリングの役割
5. Rogersの適応と人格論
6. 治療的人格変化のための条件について
7. 受理面接の役割
8. Snyder範らう
9. 来談者中心カウンセリングのケース紹介(1)
10. 同 (2)
11. 他の立場の紹介：臨床的カウンセリング
12. 同 ：折衷的カウンセリング

評価方法：平常点、中間試験。その他未定
【授業科目名】 行動療法
【担当者】 林 潔

【開講期】 2年後期

【授業目標】
行動療法の基礎の学習。

【テキスト・参考書】
カウンセリングと同じ

指定図書：図書館

授業計画

1. ふたたびカウンセリングの流れ
2. 行動療法の特徴
3. 条件付けと認知過程
4. 行動療法の受理面接
5. 行動療法の技術：強化
6. 同：系経的脱感作
7. 同：フラッデイング
8. 同：モデリング
9. 同：その他
10. 認知行動療法の技術

【評価方法】
平常点，中間試験，レポート
授業ではできるだけ多くの事例に接することができるようにしたい、その中で学生諸君が自らの感性を通して、いろいろなことを考えたり感じたりしてほしい。できるかぎり学生諸君にとっても親しみやすい事例を紹介する中で、理論的な解説も加えるようにしていきたい。事例の選択は受講者の関心を聞きながら適宜に決めていくことにする。
【授業科目名】 健康心理学
【担当者】八木孝彦
【開講期】 2年後期

【授業目標】
健康心理学は基礎的側面と応用的側面を合わせ持つ、新しい学問領域である。したがって授業でも基礎的・学問的な内容から、応用的で自己の健康管理に役立つ内容まで幅広く学べたい。

【テキスト・参考書】
テキストは使用しないが参考書は随時紹介する。

授業計画

I 健康心理学とは
(1) 健康の概念
(2) 健康心理学の誕生
(3) 健康心理学の定義と領域

II 健康心理学の方法
(1) 相関的研究
(2) 実験的研究

III ストレス
(1) ストレスと自律神経系
(2) ストレスと内分泌系
(3) ストレスと免疫系

IV ストレスと病気
(1) デイリィ ハッスル
(2) ライフ イベント
(3) ストレス コーピング

V パーソナリティと健康障害
(1) タイプAと虚血性心疾患
(2) パーソナリティと悪性新生物
(3) アレキシミアと心身症

VI ライフスタイルと健康
(1) 喫煙行動
(2) 過食と肥満
(3) 運動不足
(4) 飲酒
(5) 睡眠
(6) 情緒的支援

VII リラクゼーション
(1) 筋弛緩法
(2) 自律訓練法
(3) バイオフィードバック
(4) 東洋の行法

【評価方法】
筆記試験
障害児心理学

授業目標
障害児の指導法の基礎となる知識及び基本的考え方を学び、色々な障害の特性及び指導法を知ることを目標とする。

テキスト・参考書
テキスト：使用しない

授業計画
障害児の行動を的確に把握し、事故間の相互関連を明らかにし、その原因を考えることが正しい治療的指導法に通ずる。障害児に対する科学的解釈と実践のための基礎的知識を体系的に考えることが障害児心理学の目的である。障害児の有する問題行動やその原因の把握及び治療方法について考えていきたい。

授業は以下の項目にそって進める。

I 障害の定義
II 障害児心理学の目的と課題
III 障害の医学・生理学的基礎
IV 診断とテスト
V 障害各論
① 視覚障害
② 聴覚障害
③ 肢体不自由
④ 知的障害
⑤ 自閉性障害
⑥ 言語障害
⑦ 学習障害
⑧ 重度心身障害

評価方法
レポート
<table>
<thead>
<tr>
<th>授業科目名</th>
<th>交流分析</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>【開講期】</td>
<td>2年前期</td>
</tr>
<tr>
<td>【授業目標】</td>
<td>交流分析の実際について学習する</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【テキスト・参考書】
なし

指定図書：図書館

授業計画

1. 自己援助とソーシャルサポート
   自己援助の一つとしての交流分析
2. 交流分析の概要
3. 構造分析
4. エゴグラム
5. PACのバランスとアンバランス
6. 交流分析の目的
7. エゴグラムの事例
8. 交流パターン分析：3つの交流様式
9. 裏面交流と防衛機制
10. 交流の動機
11. ストローク
12. 時間の構造化
13. 基本的自己対人関係
14. ゲーム分析
15. ラケットとデイスカウント
16. 脚本の意味と禁止令
17. 脚本のタイプと脱出

【評価方法】
平常点、中間試験。その他未定。
授業科目名 児童相談
【担当者】 神田信彦

【開講期】 2年後期

【授業目標】
子どもの適応上の問題に関する相談の方法や態度に関する基本的な知識を習得する

【テキスト・参考書】

授業計画

子どもたちの抱える発達上、適応上の様々な問題を理解し、子どもたちがより健康的に成長していくための援助について心理学的な立場を中心に考えていく予定である。

・講義は以下の項目に沿って進める予定である。

1. 子どもの問題と相談活動
2. 相談活動のプロセス
3. 相談者の心構え
4. 相談活動的方法
5. 乳幼児の問題と相談
6. 学童期の問題と相談
7. 青春期の問題と相談

【評価方法】
①定期試験の結果
②平常点
【授業科目名】 心理学特講 1
【担当者】 林 潔

【開講期】 2年後期

【授業目標】
最近の心理療法の2つの方法を紹介する

【テキスト・参考書】
なし

指定図書：図書館

授業計画

I. マイクロカウンセリング
1. 折衷的カウンセリングとしてのマイクロ技法
2. カウンセリングの過程
3. マイクロ技法の紹介

II. コラージュ療法
1. エンガの分析心理学
2. エンガのアプローチの基礎
3. 箱庭とコラージュ（貼り絵）
4. コラージュの実際（2-3セッション）

【評価方法】
平常点、中間試験、レポート。
【授業科目名】 心理学特講Ⅱ
【担当者】 伊藤 典幸

【開講期】 2年後期

【授業目標】
これまで知識として習得してきた心理学が、現実の社会の中での問題の解決にいかに応用されているかを紹介していく。それを通じ、今後、自らが現実の社会生活の中で直面するであろう問題解決場面に心理学をいかに活用し得るかを理解することを目指す。

【テキスト・参考書】
授業の中で必要に応じ紹介する。

授業計画

1回目の授業でにイントロダクションとして、心理学の応用事例、社会的な事象の心理学的解釈等を各種紹介した後、2回目以降、下記のテーマについて掘り下げた解説を行っていく。

1. 環境心理学の分野からパーソナルスペース
現実の空間の中での人間の行動の実験例、実例を紹介しながら、それら個々の事例について心理学的な解釈を行なっていく。また、その目的に応じた心地よい空間を作りだすには、心理学的な見地からどのように設計をしていったらよいかを考えていく。

2. 事故とヒューマンエラー
航空機事故の事例をとりあげ、事故原因におけるヒューマンエラーの問題を取り上げる。事故防止のためのマンマシンインターフェースの改良の歴史を解説しながら、ヒューマンエラーの根絶の難しさ、その背景にある人間行動の複雑さを再認識していく。

3. 教育訓練プログラムの体験学習
米国大手エアラインでコーチングクルーのトレーニング用に開発され、一般の企業においても組織のチームワーク養成に利用されているコミュニケーション能力開発プログラムの体験学習を行う。ここでは、このプログラムの自体の意義を考えさせると同時に、トレーニングプログラムの中で自分自身が何を学習できたかを考えていく。

【評価方法】
レポート提出
【授業科目名】心身医学
【担当者】大賀 達雄

【開講期】2年後期

【授業目標】
心身相関現象を学び、医療の場で心身症患者を全人的に把握するのに必要な心理学的知識を学ぶこと

【テキスト・参考書】
芦原 睦著「心身医学おもしろレクチャー」チーム医療

授業計画

1 心身医学とは何か、
2 心身医学を学ぶ目的
3 心身医学の歴史
4 心身症の定義、代表的な心身症
5 ストレスの概念
6 Cannon の理論
7 Selye の理論
8 免疫系の働き
9 心理社会的ストレス Holmes と Lazarus の考え
10 失感情症
11 A行動パターン
12 心身相関と学習理論
13 心身相関と精神分析理論
14 心身症を固定化する要因 [疾病利得、自己破壊行動]
15 治療関係におけるコミュニケーション [自家性の病気、医家性の病気、医原神経症]
16 心身医学で用いる心理テストの種類
17 エゴグラム [心理テストを実施、レポートにまとめる]
18 内分泌系の心身症 [摂食障害、過食症]
19 循環器系の心身症 [パニック・デイスオーダー]
20 呼吸器系の心身症 [過眠起症候群、気管支喘息]
21 消化器系の心身症 [消化性潰瘍、過敏性腸症候群]
22 神経系の心身症 [頭痛、書難、座性斜頸]

【評価方法】レポート
【授業科目名】 精神保健  【担当者】 青田 洋一

【開講期】 2年前期

【授業目標】
現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見を
とくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。

【テキスト・参考書】
（参考書）ナンシー・C・アンドリアセン『故障した脳』（紀伊国屋書店）

授業計画

おおよそ以下の項目にそって進める。
①総論…精神障害とは？ 予防とは？
②基本的用語の理解
  不安、恐怖、強迫、離人、心気、
  抑うつ、躁、幻覚、妄想、せん妄
  もうろう、愚痴、痴呆、健忘、etc
③精神障害の分類
④精神分裂病
⑤躁うつ病
⑥神経症
⑦その他の精神障害
⑧精神障害の治療
⑨精神障害と治験能力
⑩精神医療の現状と問題点

【評価方法】
定期試験 （テスト）
【授業科目名】 精神医学
【担当者】 青田 洋一

【開講期】 2年後期

【授業目標】
症例や社会問題における精神医学的検討を通じて、精神医学的な見方・考え方ができるようになること。

【テキスト・参考書】

授業計画

おおよそ以下の項目にそって進める。
①人間と薬物
アルコール、覚醒剤などとのかかわりから
人間をみていく。
②脳死
脳死をとおして人間の生死について考える。
③症例
症例を通じて精神障害への理解を深める。
④精神障害者の社会復帰
われわれは、どうするべきなのかを考える。

【評価方法】
平常点（リポート）